

# 令和2年 第3回 区づくり推進横浜市会議員会議（神奈川区）

日 時 令和2年9月4日（金）

午前 10時から

場 所 本館5階大会議室

## 次 第

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 題

(1) 令和元年度 神奈川区個性ある区づくり推進費決算状況について

(2) 令和2年度 神奈川区個性ある区づくり推進費執行状況について

(3) 令和3年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方について

5 その他

- ・神奈川区の新型コロナウイルス感染症への対応等

6 閉 会

令和2年 第3回

# 区づくり推進横浜市会議員会議

令和元年度 個性ある区づくり推進費

決算状況



令和2年9月4日

神 奈 川 区

# 目 次

	ページ
1 令和元年度神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書 . . .	1
2 令和元年度神奈川区個性ある区づくり推進費執行実績 . . .	3

# 令和元年度 神奈川区個性ある区づくり推進費 決算調書

## 1 区分別総括表

(単位：円)

	予算額	決算額	差引
(1) 自主企画事業費	106,014,000	100,487,490	5,526,510
(2) 一般管理費	624,612,000	619,825,108	4,786,892
統合事務費	28,518,000	27,366,007	1,151,993
統合事業費	18,868,000	18,716,274	151,726
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	577,226,000	573,742,827	3,483,173
合計	730,626,000	720,312,598	10,313,402

≪区づくり推進費 執行率 98.6%≫

## 2 内 訳

(1) 自主企画事業費 100,487,490円 (予算額 106,014,000円) 差引 5,526,510円

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	主な増減理由
4つの施策				
I 安全・安心なまちづくり	35,942,000	41,981,091	△ 6,039,091	「自分でつくるmy防災マップ」の仕様変更による増等
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	22,278,000	18,354,867	3,923,133	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う介護予防出張講座中止等による減等
III 魅力にあふれ活力あるまちづくり	14,772,000	12,907,560	1,864,440	実行委員会補助金戻入による減(散歩ガイドの在庫活用)等
IV 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり	22,240,000	18,592,007	3,647,993	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う地区別計画推進会議中止等による減等
V 共感と信頼の区役所	10,782,000	8,651,965	2,130,035	窓口サインについて、一部局配付予算で実施したことによる減等
合計	106,014,000	100,487,490	5,526,510	(34事業)

(2) 統合事務事業費 46,082,281円 (予算額 47,386,000円) 差引 1,303,719円

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	主な増減理由
統合事務費 ※1	28,518,000	27,366,007	1,151,993	庁用車活用による出張経費の減等
統合事業費(6事業) ※2	18,868,000	18,716,274	151,726	広報よこはま区版入札残等
合計	47,386,000	46,082,281	1,303,719	

※1…局事業に係る事務費 ※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費573,742,827円 (予算額 577,266,000円) 差引 3,483,173円

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	主な増減理由
1 区庁舎等	79,409,000	77,468,770	1,940,230	光熱水費節減による減等
2 土木事務所	8,155,000	7,960,992	194,008	光熱水費節減による減等
3 公会堂	35,123,000	35,123,000	0	
4 地区センター等	194,727,000	194,824,200	△ 97,200	室内有機化合物濃度測定委託実施による増
5 ログハウス	8,126,000	8,126,000	0	
6 区民文化センター	114,097,000	114,097,000	0	
7 老人福祉センター	25,449,000	25,449,000	0	
8 コミュニティハウス	52,462,000	52,432,578	29,422	契約実績による減
9 スポーツセンター	50,798,000	50,798,000	0	
10 広場・遊び場	1,380,000	1,364,444	15,556	契約実績による減
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500,000	6,098,843	1,401,157	修繕箇所への減
合計	577,226,000	573,742,827	3,483,173	

～令和元年度神奈川区個性ある区づくり推進費執行実績～

**I 安全・安心なまちづくり 41,981,091円（予算額35,942,000円）**

- (1) 地域防災力向上事業 重点
- (2) 振り込め詐欺等撲滅対策事業 重点
- (3) 神奈川区防犯対策事業
- (4) 交通安全対策事業

**自主企画事業費以外で実施する主な事業**

- ① 緊急時情報システムの運用及び検証（総務局区配）
- ② 災害対策備蓄事業（総務局事業）
- ③ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ④ 下水道管きょ耐震化事業／災害用ハマッコトイレ整備事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑤ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑥ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑦ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑧ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）
- ⑨ 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）
- ⑩ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ⑪ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ⑫ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑬ 総合的な空家等対策の推進（建築局事業）

**(1) 地域防災力向上事業 32,848,283 円 (予算額 26,757,000 円) ☆重点事業**

**総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課**

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進するとともに、近年の災害で明らかになった新たな課題を踏まえ、地域防災力の向上を図りました。

**ア 地域防災力の強化**

- ◆ハザードマップ・防災情報ファイルの作成、全戸配布 (9月～10月：約12万5千世帯)
  - ・区独自のハザードマップ (津波、洪水、土砂災害等の危険箇所や避難所などの防災情報) と防災情報ファイル (防災情報やチェック機能) を作成
  - 自宅や避難場所を示すシールを同封し、全戸配布
- ◆防災アドバイザー派遣事業 (実績：49件)
  - ・感震ブレーカーの設置支援 (実績：41件)
- ◆女性の視点を取り入れた避難所運営支援
  - ・地域防災拠点運営委員会向けセミナーの開催 (8月7日実施：62名参加)
  - ・地域防災拠点への区独自の備蓄品整備 (12月：更衣用テント、防犯ブザー、中身の見えない袋、ウェットティッシュ)
- ◆家具転倒防止対策器具設置補助 (実績：33件)
- ◆不燃化推進地域等における感震ブレーカー設置促進事業 (実績：1076件)
- ◆「地域の防災マップ」作成支援事業 (実績：2団体)
- ◆共助推進事業 (実績：21団体)
- ◆次世代への防災教育 (防災ガイド配布、公立中学校7校1,500部・私立中学校4校2,000部)
- ◆多世代の防災意識向上 (防災ガイド配布：公立小学校19校2,000部)
- ◆地域防災拠点開設・運営訓練及び運営委員会への支援 (通年)
- ◆防災関係機関会議及び鉄道事業者等による災害対策検討協議会 (7月6日)



女性の視点を取り入れた避難所運営支援  
(地域防災拠点運営委員会向けセミナー)

**イ 区役所災害対応力の強化**

災害時に職員が迅速かつ的確に行動できるよう、訓練や研修を実施し、災害対応力の強化を図りました。

- ◆転入職員向け研修 (4月12日)
  - ◆即応班研修 (4月19日・22日)
  - ◆風水害対策訓練 (6月25日・26日)
  - ◆地域防災拠点参与・参与補助者研修 (7月2日・4日)
  - ◆地域防災拠点動員者向け研修 (7月31日、8月2日)
  - ◆庁舎避難誘導訓練 (9月2日)
  - ◆区本部初動対応訓練 (9月20日・24日・25日)
  - ◆区本部運営に必要な物資の整備 (通年)
  - ◆地域 BWA 検討会 (1月16日)
- ※地域 BWA…災害発生時に行政が優先して利用できる無線システム



地域防災拠点動員者向け研修  
(机上訓練状況)

## ウ 医療初動体制の整備

### ◆災害医療に係る機関や団体との連携

- ・区災害時救急病院・休日急患診療所との連絡会（6月28日）
- ・神奈川区災害医療連絡会議（9月13日、12月20日）

### ◆災害医療の訓練や区民啓発

- ・区内災害時救急病院（7施設）等との情報受伝達訓練（年4回）
- ・災害医療のぼり旗掲出訓練の実施（9月2日～9月7日）
- ・地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施（8月31日菅田小、12月7日三ツ沢小）
- ・神奈川区災害医療訓練（10月20日）
- ・鶴見区との通信訓練（1月19日）

## エ 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への個別説明等を行い、新規協定締結の促進を図りました。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援しました。

- ◆新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）  
（名簿提供団体：103団体、うち令和元年度の新規提供団体：9団体）
- ◆災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（7月 計3回）
- ◆災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）
- ◆名簿協定に係る協定未締結の自治会町内会に対して新規協定締結の働きかけを実施（随時）
- ◆神奈川区見守り活動啓発用パンフレットの作成・配布（7月）



神奈川区見守り活動啓発用  
パンフレット

## オ 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所について、福祉避難所の機能や役割を区民に周知するチラシを作成し、各地域防災拠点の訓練時に参加者へ配布しました。

また、福祉避難所の運営体制の強化を図るべく福祉避難所連絡会・研修会を開催するとともに、福祉避難所情報共有システムを活用して避難所開設状況情報受伝達訓練を実施しました。

### ◆福祉避難所の役割や機能の周知

- ・神奈川区独自の福祉避難所チラシを作成（8月、8,000部）
- ・各地域防災拠点訓練時にチラシを参加者へ配布・周知（9月～）
- ・地区センター等区内各公共施設においてチラシを配架、周知（10月～）

### ◆運営体制の強化

- ・福祉避難所協定締結施設との連絡会を開催（6月28日、1月30日）
- ・福祉避難所協定締結施設を対象に研修会を開催（1月30日）
- ・区災害医療訓練と連動した福祉避難所開設状況情報受伝達訓練の実施（10月20日）

<<令和2年8月末現在 福祉避難所協定締結数：20施設>>



## カ 災害時のペット対策

### ◆地域防災拠点における災害時のペット対策支援（通年）

- ・「神奈川県地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン」に従い、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策を支援
- ・防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施  
（13 拠点 うち一時飼育場所設置及びペット同行避難訓練を1 拠点で実施）
- ・地域防災拠点運営委員会総会（6月20日）等にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- ・講演会の実施（8月3日）35名参加  
「地震！愛犬と備える防災講座～東日本大震災のボランティア体験から」  
講師：遠藤エマ氏（JAHA 認定家庭犬インストラクター、横浜市動物適正飼育推進員）  
岐部文明氏（羽沢小学校地域防災拠点委員長）



講演会の様子



地域防災拠点でのペット同行避難訓練

### ◆飼い主への災害時ペット対策の啓発（通年）

- ・地域防災拠点（13 拠点）や区民ホール（9月9日～13日、3月2日～6日）にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施
- ・「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を動物病院、量販店等で配布

#### ① 緊急時情報システムの運用及び検証（総務局区配）

地域の防災組織の長（自治会町内会長）と区との間の情報受伝達手段のひとつとして、電話やメールを利用した、双方向機能を有する「緊急時情報システム」を試行運用し、実務上の課題等を検証しました。

#### ② 災害対策備蓄事業（総務局事業）

地域防災拠点で備蓄している生活用品（ほ乳瓶、生理用品、紙おむつ、紙パンツ）について、一斉更新しました。



**(2) 振り込め詐欺等撲滅対策事業 1,997,527 円 (予算額 2,000,000 円)**

**地域振興課**

**☆重点事業**

**☆新規事業**

地域で実施する防犯キャンペーンやパトロール、防犯講話等の機会を捉え、啓発物品や広報物の配布などを通じて特殊詐欺（振り込め詐欺等）に遭わないための啓発を行い、区民の防犯意識向上を図る取組を行いました。

特に、特殊詐欺の犯人は電話の声を録音されることを嫌うため、警察等関係機関と連携し、留守番電話設定の奨励や、迷惑電話防止機能付きの電話機・機器の普及に向けた対策を実施しました。

**ア 詐欺被害防止のための機器普及に向けた取組**

- ◆ 広報よこはま区版特集での特殊詐欺等撃退対策啓発実施（8月号掲載）
- ◆ 自動通話録音装置の貸出  
（募集期間9月2日～10月18日、応募者数171名で抽選貸出台数140台、）及び効果検証  
（検証結果：防止効果ありとの回答が約95%）



自動通話録音装置の一例(右)

**イ 警察や地域と連携した詐欺被害防止対策**

- ◆ 「留守番電話の設定」「迷惑電話防止機能付き電話機・機器の設置」に向けた周知・啓発（自治会町内会等への「のぼり旗」等パトロール用物品の支給、区民への啓発物品の配布、ポスターの掲示）

**(3) 神奈川区防犯対策事業 2,898,300 円 (予算額 2,905,000 円)**

**地域振興課**

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察署や防犯協会と連携を図りながら、情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進しました。

**ア 住みよいまちづくり活動（21 地区連合町内会の防犯活動支援）**

- ◆ 助成金交付、防犯啓発物品の配布・貸与

**イ 防犯活動啓発事業**

- ◆ 防犯情報メールの配信、区ツイッターへの掲載
- ◆ 地域への防犯グッズ（帽子・ベスト・手袋・メモ帳等）の配布
- ◆ 地域・事業者等の車両による青色回転灯パトロールの実施支援
- ◆ その他区内の各地区の犯罪発生状況に応じた啓発

**(4) 交通安全対策事業 4,230,931 円 (予算額 4,280,000 千円)**

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図りました。

また、路側帯のカラー化など用地取得を伴わない安全対策を行い、歩行者環境の改善を図りました。

**ア 交通安全啓発事業**

- ◆交通安全教室の開催 対象：小・中学生、高齢者
- ◆交通安全チラシおよび啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用

**イ 神奈川区交通安全対策協議会事業**

- ◆神奈川区交通安全対策協議会の開催、交通安全功労者表彰の実施等

**ウ 児童通学路整備事業**

- ◆スクールゾーン対策協議会活動の支援
- ◆通学路内の路面標示の補修

**エ 交通安全対策工事**

- ◆路面標示・標識の設置、補修等



小学校で実施した交通安全教室



警察と連携した交通安全啓発活動

③ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね 30 年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和元年度は松見町一丁目第三公園で実施しました。

また、老朽化した遊具等施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心性の向上を図っており、令和元年度は菅田いでど公園、西寺尾第二公園、羽沢大道第二公園、松見町一丁目中央公園などの公園で実施しました。

④ 下水道管きょ耐震化事業／災害用ハマッコトイレ整備事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

応急復旧活動拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めています。令和元年度は神奈川土木事務所の周辺で実施しました。また下水道管きょの耐震性の調査については、移転した子安小学校や、液状化被害想定区域外の羽沢小学校、菅田小学校、池上小学校の周辺について実施しました。

災害用ハマッコトイレ整備は、羽沢小学校と市民病院の 2 か所で実施しました。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和 45 年頃にかけて布設された古い下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和元年度は入江 2 丁目、七島町、松見町 1 丁目などで工事を実施しました。

⑤ 道路維持修繕事業（道路局区配）

片倉一丁目や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図りました。

⑥ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について用地交渉を行いました。引き続き用地交渉を進め、早期取得を目指します。

竣工箇所の道路台帳整備に必要な測量を行いました。引き続き道路台帳整備を進めます。

⑦ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めており、損傷した誘導ブロックの補修を行うとともに、大口駅東側の整備を行いました。

⑧ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）

内路交差点北側の、擁壁、車道、歩道を整備する工事を行いました。

⑨ 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

「相鉄・JR 直通線（西谷駅～羽沢横浜国大駅間）」は、令和元年 11 月 30 日に開業しました。

「相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大駅～日吉駅間）」は、令和 4 年度下期の開業に向けて、全区間で土木工事等を進めました。

⑩ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和元年度は、施設建築物新築工事に着手しました。

### ⑪ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和元年度は、移転補償を進めるとともに、迂回路用仮橋の設置工事を実施しました。

### ⑫ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

### ⑬ 総合的な空家等対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和元年度は、空家化の予防、流通活用の促進を目的とした相談体制の強化や空家所有者に対する活用補助のモデル実施とともに、特定空家等の認定推進、現地調査や所有者調査の委託化等、管理不全な空家への指導強化に向けた対策を実施しました。



羽沢横浜国大駅（イメージ）



横浜駅きた西口鶴屋地区（イメージ）

## Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 18,354,867円

(予算額 22,278,000円)

(5) かながわ健康づくり応援事業 重点

(6) かながわ安心子育て支援事業

(7) かながわ子育てかめっ子支援事業

(8) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業

(9) 市立保育所地域交流事業

かながわ子育て応援事業 重点

(10) 放課後児童健全育成連携強化事業

(11) 介護予防・高齢者支援事業

(12) 障害者支援事業

(13) 青少年育成費

(14) スポーツ振興事業費

### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑭ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑯ 女性相談保護事業（こども青少年局区配）
- ⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑲ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ⑳ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ㉑ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ㉒ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ㉓ 放課後キッズクラブ施設整備事業（こども青少年局区配）
- ㉔ 放課後児童クラブ移行支援事業（こども青少年局区配）
- ㉕ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局）
- ㉖ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）
- ㉗ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ㉘ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）



(5) かながわ健康づくり応援事業 5,246,059 円 (予算額 6,134,000 円) ☆重点事業

福祉保健課

区民の健康寿命延伸を目指し、誰もが生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体と連携し、ライフステージに応じた健康づくり活動を展開しました。

ア さあ！歩こう健康ウォーキング事業 (保健活動推進員等と協働)

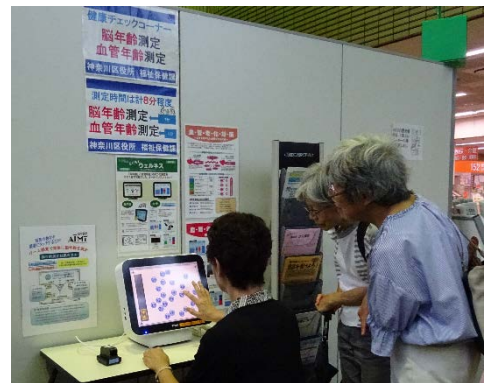
◆ウォーキングイベント

- ・保健活動推進員等と協働したウォーキングイベントの実施 (11月28日・124人参加)  
※3月は中止
- ・地域主体のウォーキング開催支援として、保健活動推進員等を対象とした研修会の実施 (8月28日・38名参加)

イ 健康づくり推進事業

◆情報発信の充実

- ・健康チェック・情報コーナーを区庁舎内に設置  
【新規】(7月)  
生活習慣改善のきっかけ及び特定検診・がん検診の受診勧奨の機会として活用 (測定機器利用者延べ3,976人)
- ・地域ケアプラザ等に設置した健康掲示板による情報発信 (全12回実施)
- ・広報よこはま神奈川区版で「健康かながわ応援コラム」を毎月掲載 (5月～3月)



健康チェック・情報コーナー

◆健康かながわ応援月間 (10～11月)

30年度から区役所各課が幅広い世代を対象とした様々な健康関連事業を集中的に実施。関係機関、団体、地域に呼びかけ、賛同した各団体等の取組も一体的にPR。

- ・区民まつり 健康・わくわく広場 (10月13日)  
※台風のため中止
- ・大腸がん検診普及啓発講演会 (11月1日・138人参加)  
「走る意味～闘病を乗り越え気づいたこと～」



講師：プロランニングコーチ  
金 哲彦氏

- 講師：プロランニングコーチ 金 哲彦氏、横浜市立大学医学部教授 斉藤 聡氏
- ・中央卸売市場「市場まつり」にて啓発 (11月17日・300人参加)
- ・新駅イベント「ハザコクフェスタ」にて啓発 (11月30日・260人参加)

◆地域における健康づくり活動の支援

- ・歯周病予防・オーラルフレイル (次ページ※1) 予防などをテーマとした歯科出前講座の開催【新規】(6地区開催・139名参加)
- ・健康チェック機器の整備による地域関係団体への活動支援 (随時)

◆働き・子育て世代の健康づくり

- ・区内の事業所に対し、健康経営 (次ページ※2) の取組を推進するための講座1回【新規】
- ・健康経営認証企業に対して健康講座を実施 (7月23日 30名参加)
- ・両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施 (年間11回実施)

## ウ 食育普及事業

### ◆保育園・小中学校等との連携による食育推進

- ・保育園・小中学校等の栄養士・養護教諭等が各取組を共有する連絡会（5月30日、2月27日）
- ・食育展（6月10日から21日）



区庁舎1階区民ホールで行った食育展

### ◆食育関連講座

- ・出前食育講座：学校等との協働による食育講座を出前で実施（5回実施・294名参加）
- ・ヘルスマイトとの協働による地産地消野菜レシピ集を活用した野菜摂取の普及（随時）
- ・食育ミニ講座：3歳児健康診査の参加者に食育講座を実施（23回実施・948名参加）

※1 オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態。身体の衰え（フレイル）にも大きく関わっています

※2 健康経営……………社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む企業経営のスタイル

## ⑭ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

第2期健康横浜21計画の中間評価の結果を踏まえ「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の5つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指します。



**(6) かながわ安心子育て支援事業 1,646,336 円 (予算額 2,072,000 円) ☆重点事業**

こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みました。また、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援しました。

**ア 児童虐待防止対策事業**

◆児童虐待・DV 防止連絡会 (年 2 回)

関係機関が連携強化のための意見交換を実施

5 月 27 日 16 名参加、令和 2 年 1 月 29 日 16 名参加

10 月 30 日 講演会実施 212 名参加

◆養育支援連携会議 (5 地区 各 1 回)

民生・児童委員、学校関係者等で児童虐待を予防するための支援についての検討

◆子育て講演会 (年 2 回)

2 歳児の保護者向けの子育ての具体的な方法についての講演会を実施

8 月 27 日 23 名参加、令和 2 年 1 月 15 日 20 名参加

**イ 親支援プログラム**

育児の不安や悩みを持つ保護者に対し、子育てのノウハウを具体的に学べる講座を実施

0 歳児向け (4 回/コース 2 回)

6 月 17 日～7 月 8 日 10 名 1 月 20 日～2 月 10 日 9 名 参加

**ウ 子育て支援教室**

障害児を持つ保護者同士の交流会を実施し、孤立を防止 (年 3 回)

**エ 妊産婦等アドバイザー事業**

妊娠期からの相談対応 (週 2 日)

**オ ひとり親家庭相談支援事業**

児童扶養手当の現況届時などに相談員を配置

**カ DV・虐待心理相談事業**

カウンセリングを実施 (月 2 回)

**キ 児童扶養手当現況面接一時託児事業**

**⑮ 児童虐待防止啓発地域連携事業 (こども青少年局事業)**

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めました。

**⑯ 女性相談保護事業 (こども青少年局区配)**

DV 被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行いました。



子育て講演会

(7) かながわ子育てかめっ子支援事業 4,535,014 円 (予算額 5,190,000 円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを進めました。

ア 養育ネットワーク事業【拡充】

- ◆0歳児の育児教室に新たに子育て支援者を配置し、保護者への支援を充実 (区内 16 か所 月 1 回程度)

イ 外遊び活動支援事業

子どもの育ちに外遊びが重要であることを周知



外遊び体験イベント(反町公園)

- ◆外遊び体験イベント (3回/コース・年2回)

内容	場所	日程	参加者数 (人)
春夏編	西寺尾公園	5月27日	32
	反町公園	5月29日	132
	豊顕寺市民の森	6月11日	38
秋冬編	入江町公園	10月15日	89
	岸根公園	10月21日	126
	神奈川公園	10月23日	50

- ◆外遊びネットワーク交流会 (年2回)

- ◆外遊び講演会 (年1回) 5月13日 161名参加

ウ すくすくかめっ子事業

地域ぐるみで実施されている親子のたまり場 (44 会場) の活動支援、担い手同士の交流を実施 (参加者数 計 141 名)

内容	会場	日程	参加者数(人)
全体交流会	神奈川区地域子育て支援拠点かな一ちえ	6月17日	54
方面別交流会	神之木地域ケアプラザ	7月1日	19
方面別交流会	菅田地域ケアプラザ	7月23日	23
方面別交流会	神奈川区地域子育て支援拠点かな一ちえ	7月29日	20
方面別交流会	六角橋地域ケアプラザ	7月30日	25
全体研修会	神奈川区地域子育て支援拠点かな一ちえ	2月予定	中止

エ 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催 (年12回)

オ 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校の小学5年生を対象に、0歳児の母子の協力を得て、児童が乳児とふれあう講座を実施 (5校)

カ 子育て情報提供事業

子育て応援マップ (13,000部)、子ども・家庭支援相談案内 (6,000部) 作成

キ 出張子育て拠点事業

地域子育て支援拠点へのアクセスが悪い地域に週1回出張広場を実施 (2か所)

## ク 子育てアンケート事業

乳幼児健診を受診する保護者を対象に子育てに関するアンケート調査を実施し、乳幼児期の子育ての様子や地域資源の利用状況を把握（1,000名程度）

- 5月 対象者に調査票の郵送
- 7月～9月 乳幼児健診会場において調査票の回収
- 10月～12月 集計・分析
- 3月 アンケート結果を基に概要版リーフレットを作成

### ⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めました。

参考：令和元年4月～令和2年3月の実績 訪問員59名、訪問件数1,595件

### ⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者、および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」（NPO法人 親がめ が運営）があります。

参考：令和元年4月～令和2年3月の実績 28,085名

## （8）保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業 800,000円（予算額 805,000円）

こども家庭支援課

区内の保育・教育施設がより実践的な防災対策に取り組むことができるよう「防災アドバイザー」を派遣し、講座やワークショップ、伴走支援等を実施して、施設の取組を支援しました。

### ア 防災アドバイザー派遣【新規】

◆防災対策を含めた、保育所と地域のつながり力に関する研究を行っている、横浜市立大学の三輪律江准教授や横浜国立大学の稲垣景子准教授等の有識者を防災アドバイザーとして派遣

- ・施設の防災対策、施設と地域及び施設同士の連携などをテーマとした連続講座と施設と地域の共助力を強化するため、防災アドバイザーがファシリテーターとなり、施設自らができること、やりたいことについて話し合うワークショップを開催（3回）

6月14日、10月24日、令和2年2月19日

- ・神奈川区における施設と地域の連携モデル策定に向けて、防災アドバイザーによる伴走支援を保育園と幼稚園各1園で実施

実施園：いずみ反町保育園、白幡幼稚園



保育・教育施設向け  
+αの防災ガイド



「まち保育」の理解と防災力強化  
連続講座

**(9) 市立保育所地域交流事業 1,546,403 円 (予算額 1,835,000 円)**

☆重点事業

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施しました。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行いました。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図りました。

**ア 食育推進事業**

- ◆入所児童の保護者を対象に給食試食、地域の親子を対象にランチ交流を実施

ランチ交流 29 回

**イ 地域交流事業**

- ◆園庭や施設を地域に開放し交流を実施

**ウ 保育施設等情報パンフレット作成**

- ◆神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成

**エ 保育園連携強化事業**

- ◆民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会（年 6 回）や研修会を開催



園庭開放

**⑱ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）**

全市共通事業（育児相談、育児講座、平日の園庭開放等）に加え、土曜日の園庭開放を実施し、父親の育児参加等を支援しました。

**⑲ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）**

保育施設のネットワークを充実させ多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めました。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施しました。

**⑳ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）**

待機児童解消のため、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュが中心となって、電話や面談等により保護者へ寄り添った、きめ細やかな相談・支援を行いました。

**【令和 2 年 4 月開所】**

認可保育所

- ・とうよう片倉町保育園（神大寺三丁目）

定員 60 人

小規模保育事業

- ・スターチャイルド《横浜ステーションナーサリー》（鶴屋町一丁目）

定員 19 人

**(10) 放課後児童健全育成連携強化事業 255,900 円 (予算額 300,000 円)** こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の「質の向上」を図るため、放課後事業に従事する職員等を対象に研修を実施しました。

また、クラブ職員が安心して活動できるよう、現場を支える運営主体向けの研修を開催し、放課後事業の連携を強化し、質の向上と安定運営を図りました。

**ア 職員向け研修**

研修名	内容	実施時期	参加人数
発達障害理解研修	発達障害など配慮を要する児童への対応方法	9月17日	44名
養育支援研修	児童虐待等への対応方法	10月11日	32名
感染症対応研修	感染性胃腸炎等が発生した場合の対応方法	11月5日	26名
活動支援研修	日常の支援業務に活かせる実技	11月26日	15名

**イ 運営主体向け研修**

研修名	内容	実施時期	参加人数
クラブ運営管理	人材確保と人材育成、クラブ運営について	6月15日	16名
危機管理	事故を防止する取組や事故発生時の対応	2月15日	24名

**【対象】放課後児童健全育成事業クラブ数 (令和2年8月31日現在)**

放課後キッズクラブ 19 か所、放課後児童クラブ 17 か所

**⑫ 人材育成研修委託事業 (こども青少年局事業)**

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を委託して実施しました。

**⑬ 放課後キッズクラブ施設整備事業 (こども青少年局区配)**

小学校施設を活用した「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安心して快適な放課後の場所をすべての子どもたちに提供するため、区内市立小学校すべてに放課後キッズクラブが整備されました。

**【参考】放課後キッズクラブ整備数：19か所 (令和2年8月31日現在)**

平成31年3月開設：神大寺小学校放課後キッズクラブ

平成31年4月開設：三ツ沢小学校放課後キッズクラブ

**⑭ 放課後児童クラブ移行支援事業 (こども青少年局区配)**

条例の基準に適合するように、放課後児童クラブの分割・移転等を支援し、区内すべてのクラブが適合を達成しました。



(11) 介護予防・高齢者支援事業 921,822 円 (予算額 1,590,000 円)

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らし続けられるよう、在宅医療に関する区民への普及啓発や身近な場所での介護予防、認知症支援事業を地域と一体となって取り組み、「地域包括ケアシステム」の基盤づくりを推進しました。

また、局区配事業においても、「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区行動指針」の推進をはじめ、地域における介護予防を推進する「元気づくりステーション事業」や、専門職で構成されたチームによって認知症の方を支援する「認知症初期集中支援チーム事業」などを推進しました。

ア 地域包括ケア推進事業

◆在宅医療の普及啓発

- ・地域の身近な場所では在宅医療に関する知識を習得できる区民向け講習会を開催（4回（4回はコロナにより中止））
- ・在宅医療マップについて、区役所や地域ケアプラザ、区民向け講習会等で配布するだけでなく、民生委員の方に普段の活動の中で活用してもらうことで細かく地域の高齢者に対して在宅医療を啓発

◆地域包括ケアを推進するための地域ケア会議の実施（通年）

- ・区域における課題である「独居高齢者」、「医療・介護・地域連携」を重点テーマとし、区役所を始め、区内の関係機関・団体等で重点的に取り組みました。

【参考】各地域ケア会議の実績内訳

	個別レベル地域ケア会議	包括レベル地域ケア会議	区レベル地域ケア会議
主催	地域包括支援センター	地域包括支援センター	区役所
実施回数	20回	7回	0回（書面会議を R2.5 実施）
主な参加者	地域包括支援センター職員、医師、看護師、薬剤師、ケアマネ、デイサービスなどの事業者、民生委員、区社協、UR、警察、消防など		

イ 介護予防普及啓発事業

◆介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」の開催

- ・地域の身近な場所である町内会館等において、健康の客観的指標である「体力測定」を取り入れた介護予防講座の開催（21か所・延べ448名参加）

◆「低栄養防止ランチョンマット」の配布

- ・平成30年度に作成したランチョンマットを「体力測定 de 健康アップ講座」などの場で配布することにより、引き続き高齢者の低栄養防止に取り組みました。

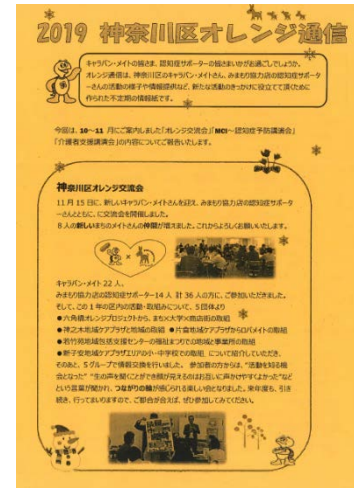
## ウ 認知症高齢者支援事業

### ◆「認知症高齢者みまもり協力店」の活動促進

- ・認知症高齢者を温かく見守る「みまもり協力店」の取組をより拡充していくため、区内の認知症支援に係る取組の紹介や情報などを共有する「オレンジ通信」を発行（6月）

### ◆認知症支援に取り組む地域人材の育成

- ・認知症支援の取組をさらに広げるため、「認知症サポーター養成講座」を受講した方のうち、希望する方をボランティアとして登録し、地域での認知症講座や啓発活動などの担い手として育成



「オレンジ通信」

### ◆高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配付

- ・平成30年度に作成した「みまもりキーホルダー」を、緊急時の身元確認ツールとして区内の地域ケアプラザ・地域包括支援センターで引き続き配付することにより、元気なうちから安心して過ごせる地域づくりを推進

※配付数：481個（累計3,168個）令和元年度末時点

## ②⑤ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局）

### ・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）

横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。

### ・在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修（医療局区配）

### ・介護予防・日常生活支援総合事業（健康福祉局事業）

介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。

### ・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）

主に生活支援・介護予防に重点的に取り組む事業として、生活支援コーディネーター等が地域住民など多様な主体と連携しながら、日常的家事の支援、交流・居場所づくり、見守り活動などの立ち上げや運営の支援に取り組みました。

### ・各区地域包括ケア行動指針推進費（健康福祉局区配）

## ②⑥ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）

### ・元気づくりステーション事業

介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をしました。

＊活動状況： 地域包括支援センター単位で1～5か所にて実施

＊内 容： 体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など

### ・地域介護予防活動支援事業

地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」などを展開しました。



⑳ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

・ 神奈川区徘徊高齢者 SOS ネットワーク

認知症により徘徊の可能性のある方を事前登録することで、徘徊して行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。

・ 横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）

徘徊によって行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぐものです。

（平成30年12月より事業開始）

・ 認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）

医療や介護サービス等につなげていない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行いました。

㉑ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）

現在の地域ケアプラザの整備計画終了後の方針検討に合わせて、特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化の検討を行います。



## (12) 障害者支援事業 決算額 1,330,918 円 (予算額 1,589,000 円)

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりがその人にふさわしい地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援しました。

### ア 障害者地域作業所等の活動支援

#### ◆花のデリバリー

- ・フラワーアレンジメントの配達を委託 (年 42 回実施)

#### ◆障害者作業所等紹介ガイドブック点字訳版の作成、配布 【拡充】

- ・平成 30 年度に作成した障害者作業所等紹介ガイドブックの点字訳版を作成 (35 部発行)

#### ◆障害者地域作業所等の活動支援

- ・反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援 (通年)
- ・区役所販売支援 (通年 毎週水曜日実施)、障害者週間等での啓発 (12 月 2～6 日)



フラワーアレンジメントの様子

### イ 障害児者の健康づくり講習会

#### ◆健康づくりのための研修の開催

- ・障害特性や個別性に合った歯科口腔ケア技術の向上のための訪問指導 (11/7, 11/29, 1/15 の 3 回 4 作業所へ実施)

### ウ 精神障害者の退院促進や在宅生活継続に向けた支援

#### ◆精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- ・生活支援センター、基幹相談支援センター等、関係機関とのケースカンファレンスの開催 (随時)
- ・精神保健福祉関係機関との連絡調整会議 (3 回/年)
- ・精神保健福祉関係者の連携強化のための研修会 (1 回/年)
- ・精神保健福祉関係パンフレット等の外国語訳を変更し、障害者作業所等紹介ガイドブックと連動したマップ 2,000 部作成



歯科口腔ケア訪問指導の様子  
(区内作業所にて)

### エ 関係機関との連携・支援

#### ◆障害者支援を行う関係機関等のスキルアップ・ネットワーク構築支援

- ・関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催 (3 月開催中止)
- ・区内の障害児者支援の課題等に関する検討会 (地域づくり会議等) の開催 (地域づくり会議 4 回)

#### ◆啓発・情報発信

- ・神奈川県地域自立支援協議会ホームページを活用した情報提供 (随時)
- ・自殺対策キャンペーン実施。ポスター掲示。相談窓口を記載したティッシュ配布を変更し、区役所職員の意識向上のためのゲートキーパー研修を各課で実施 (9 月) 職員が缶バッジを装着 (自殺防止月間 9 月・3 月 区役所他相談機関職員)

**(13) 青少年育成費 542,000 円 (予算額 542,000 円)**

**地域振興課**

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年が生き生きと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して関係団体の活動を支援しました。

**ア 青少年活動推進事業**

- ◆子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業に対する支援

**イ 青少年パワー発揮事業**

- ◆B-SKY FES 2019

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント支援（9月）

**(14) スポーツ振興事業 1,530,415 円 (予算額 2,221,000 円)**

**地域振興課**

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援しました。

**ア 区民大会等各種事業補助**

- ◆各種スポーツ大会、講習会の支援

・野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引

**イ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業【新規】**

- ◆かながわ湊フェスタにて「1万人の笑顔でつくる！フォトモザイクアート」撮影ブース設置
- ◆区民まつりにおけるオリパラ啓発・競技体験ブース設置は区民まつり中止により未実施

### Ⅲ 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり 12,907,560円

(予算額 14,772,000円)

- (15) 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- (16) わが町かながわ商店街魅力発信事業
- (17) かながわ魅力向上事業
- (18) 文化活動支援事業
- (19) 花いっぱい事業
- (20) かながわエコスクラム事業
- (21) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- (22) 放置自転車等対策事業
- (23) 動物適正飼育推進事業

#### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ②⑨ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ③⑩ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ③⑪ 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ③⑫ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ③⑬ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ③⑭ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

## (15) 神奈川区資産「わが町かながわにとっておき」活用事業

☆重点事業

1,503,128 円 (予算額 2,333,000 円)

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町かながわにとっておき」を活用し、区民、特に次世代を担う小中学生の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みました。

### ア 神奈川区資産の活用

#### ◆「わが町かながわにとっておき」を活用したイベントの開催等

若いうちから「かながわ愛」・「地域愛」をはぐくみ、将来にわたって神奈川区への定住を促進するため、次世代を担う区内小中学生をターゲットとしたイベントを実施  
＜具体的事業＞

##### ① かめ太郎 まち自慢新聞コンテスト

実施期間：令和元年6月～令和2年3月

応募総数：189点（著者数271名、3小学校）

入賞作品：8点

##### ② とっておきを巡るバスツアー

実施日：令和元年8月23日

見学施設：神奈川大学・羽沢横浜国大駅

参加者数：12組28名



バスツアーの様子

※地域団体に組織する「わが町かながわにとっておき実行委員会」が主催

#### ◆第11回「わが町かながわにとっておき」写真コンテスト

実施期間：令和元年6月～令和2年3月

応募総数：71点

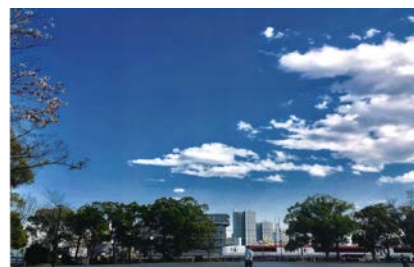
入賞作品：10点

巡回展：令和2年2月～3月

#### ◆「わが町かながわにとっておき」散歩ガイドの配布と活用

転入者や区民利用施設等の来館者に配布

(令和元年度 約20,000部配布)



写真コンテスト  
最優秀作品(小中学生部門)

### イ 看板の維持管理

#### ◆「わが町かながわ50選」案内看板の維持管理

現況確認を行い、必要な維持管理・補修等を実施

「わが町かながわ50選」  
案内看板の一例



**(16) わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,764,503円(予算額2,121,000円)** 地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、商店街を含めたコミュニティの活性化を図りました。

**商店街ラリー事業**

神奈川区の商店街を巡るスタンプラリーを開催し、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作ることで、商店街の魅力を発信

**㊸ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）**

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

**㊹ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）**

商店街が防犯パトロール活動を実施している場合、商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成する事により、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及策及び都市美化を図ります。

(17) かながわ魅力向上事業 4,524,021 円 (予算額 5,063,000 円)

区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの魅力づくりに取り組みました。

ア 地産地消推進事業

◆直売所マップ集を活用したウォーキングイベントの実施 (3回)

- ・ 7月24日 片倉・神大寺コース (13名参加)
- ・ 11月27日 菅田町・砂田川沿いコース (13名参加)
- ・ 1月31日 羽沢地区コース (21名参加)

◆地産地消ガイドブックやレシピ集、直売所マップ集などを活用した地産地消の魅力の発信 (通年)

◆広報よこはま神奈川区版 地産地消啓発のためのコラム掲載 (9月、2月 2回掲載)



シクラメンの直売所の様子  
(11/27 ウォーキングイベント)

イ 歴史活用事業

◆旧東海道・神奈川宿等区内歴史資産を活用した若年層向け啓発講座等の開催

- ・ 8月6日 神橋小学校放課後キッズクラブ (約70名参加)
- ・ 8月28日 盲特別支援学校はまっ子ふれあいスクール (約10名参加)
- ・ 10月21日 白幡小学校放課後キッズクラブ (約50名参加)

◆京急・鶴見区との連携による旧東海道ウォーキングイベント (3/14 中止)

◆歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぼ」のPR・活用 (通年)

◆台場パネルの展示 (東海道かわさき宿交流館、神奈川図書館)

◆歴史の道関連施設の更新を見据えた実態調査【拡充】

◆老朽化した神奈川宿歴史の道ガイドパネルの補修 (5か所)

◆旧東海道デザインプレート設置 (4か所7プレート)

ウ 歩行者等動線整備事業

◆暫定通路整備に伴う国有地及び市場用地の土地使用料等

③ 身近に感じる地産地消の推進事業 (環境創造局区配)

◆身近に感じる地産地消を推進するため、区民と協働して作成した直売所マップを5,000部増刷しました。

◆地産地消野菜レシピ集増刷 (9月) 3,000部

食育講座などで配布しているほか、区役所窓口で配布しました。

◆区内保育園等から募集した子ども向けレシピをもとにレシピカードを作成しました。

離乳食講習会や希望された区内保育園等で配布、啓発した。

レシピカード: A5サイズ 6種類各600枚 計3,600枚 を作成しました。



**(18) 文化活動支援事業 968,248 円 (予算額 1,000,000 円)**

**地域振興課**

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援しました。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実しました。

**ア 文化協会補助金**

- ◆区伝統芸能祭（民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい）  
(※邦楽のつどい：令和元年台風第 19 号のため開催中止)
- ◆区民音楽祭（コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会)
- ◆区文化展（洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の展示会)
- ◆春のコンサート（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)
- ◆ちいさな美術館

**イ 読書活動推進事業**

- ◆読書活動推進講演会の開催（1月26日 講師：鈴木まもる氏)
- ◆第2次神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標の策定
- ◆読書活動関係機関連絡会（2回)

**(19) 花いっぱい事業 1,550,000 円 (予算額 1,550,000 円)**

**土木事務所**

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。

**ア 球根・花苗の配布、花壇の設置**

- ◆区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布し植栽を実施
- ◆公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置

**イ 花苗の育成**

- ◆公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成

**ウ ボランティア団体の交流の促進**

- ◆土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流を促進

(20) かながわエコスクラム事業 521,787 円 (予算額 493,000 円)

区政推進課

区民・事業者・区役所の協働 (=スクラム) により、地球温暖化対策に取り組みました。  
エコ講座の開催、緑のカーテンの普及啓発、イベントでの啓発活動を実施するとともに、カーボン・オフセット等の取組への支援を進めました。

ア エコ活啓発事業

◆小学生向け出前講座の開催

8月6日、8月28日、10月21日、  
12月26日、2月12日 計5回 約230人参加

◆イベントでのエコ活啓発

8月24日、10月13日 計2回

※10月は台風のため中止

◆カーボンオフセットへの取組の支援・PR

8月10日、8月24日、10月13日 計3回

※10月は台風のため中止

◆横浜FC協働事業

・かながわ区民DAY 8月10日 来場者数 10,586人 (うち区民 3,355人)

・エコパートナーDAY 8月24日 ワークショップ出店 77人参加

イ 緑化推進事業

◆区内公共施設での緑のカーテンの普及啓発 (15施設)

◆区役所での緑のカーテン設置 (5月～9月)

育成状況を区ツイッターにて周知 5～8月、計4回



緑のカーテンの育成(神奈川スポーツセンター)

⑳ 緑化推進事業 (環境創造局区配)

地球温暖化対策の一環として、区内のこどもをはぐくむ施設での緑化の推進に取り組みました。

◆小学校・保育所に緑のカーテンを設置 (22施設)

**(21) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 945,251 円 (予算額 1,000,000 円)**

地域振興課

「ヨコハマ3R夢プラン」、特に3Rのリデュースを推進するため、食品ロスの削減、生ごみの水切り、土壌混合法等の普及・啓発を実施しました。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」の活動を行いました。

**ア 地域美化活動支援事業**

- ◆地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- ◆「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）（9月25日）

**イ 不法投棄防止対策事業**

- ◆不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- ◆地域と連携した不法投棄への対応

**ウ ヨコハマ3R夢啓発事業**

- ◆地域まつり等での啓発
- ◆子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ◆保育園や小学校等での出前授業
- ◆広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- ◆資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- ◆ヨコハマ3R夢推進功労者の表彰
- ◆喫煙禁止地区における地域と連携した啓発
- ◆喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
- ◆リユース食器利用促進に向けた費用補助



地域清掃

**(22) 放置自転車等対策事業 651,000 円 (予算額 650,000 円)**

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図りました。

**ア 自転車マナーアップ事業**

- ◆広報での駐輪場の利用促進
- ◆自転車利用のマナーアップ啓発

**イ 自転車等放置防止推進協議会への助成**

- ◆既存9地区及び新設1地区（羽沢横浜国大駅）の協議会に対し活動費を助成

動物の適正飼育について普及啓発及び地域猫活動の支援を行います。

ア 犬の適正飼育啓発事業

- ◆犬の適正飼育方法の啓発チラシやトイレパックを狂犬病予防注射出張会場、窓口等で配布  
啓発用トイレパック 1,100 パック配布済み  
啓発チラシ 1,100 枚配布済み
- ◆犬のしつけ方で困っている飼い主へマナー教室の開催  
神の木公園で実施 (10月5日 参加者(犬連れ)5人)
- ◆広報よこはま区版での啓発 (3月)

イ 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ◆飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等へのチラシの配布 (16地域) やセミナー等の実施 (3地域)、不妊去勢手術の実施に係る神奈川区猫ボランティアの派遣などの支援 (10地域)
- ◆飼育管理が不適切な飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育者に対して不妊去勢手術の指導
- ◆広報よこはま区版での啓発 (9月、1月)

ウ ペットの預け先啓発事業 【新規】

- ◆飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレットを作成し啓発

③③ 地域猫活動支援事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫 (ノラ猫) 等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。

支援対象組織には、登録された飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援を行いました。

③④ 猫の不妊去勢手術推進事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成しました。

## IV 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり 18,592,007円

(予算額 22,240,000円)

- (24) 地域力アップ推進事業 重点
- (25) 区民活動・生涯学習支援事業
- (26) 地域福祉保健活動推進・支援事業
- (27) ふれあい活動支援事業
- (28) 民生委員・児童委員活動支援事業
- (29) 区民協議会支援事業
- (30) 地域活動支援事業
- (31) 持続可能な団地再生検討事業
- (32) 神奈川区民まつり事業

### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ③⑤ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ③⑥ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業（健康福祉局区配）

**(24) 地域力アップ推進事業 2,882,927円（予算額 3,378,000円） ☆重点事業**

**区政推進課 地域振興課**

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため「地域力アップ推進事業」を実施しました。

**ア 地域人材マッチング事業（通年）**

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する地区連合等を支援しました。

- ◆新たに取組んだ地区（神之木西寺尾連自治会、幸ヶ谷地区連合町内会）では、地域活動の担い手の掘り起こしを目的としたアンケートの実施にあたり、地域ニーズに応じた内容となるよう、コンサルタントとともに検討・作成支援
- ◆すでに本事業に取り組んだ地区については、アンケート回答者名簿が継続的に活用され、担い手の確保につなげていけるよう交流会の開催等に係る補助制度を新たに創設するとともに協働により企画・実施



「ご近所通信」の発行(5月号)

**イ 地域情報紙「ご近所通信」の発行（3回 5月、10月、3月）**

協働による地域づくりの事例や地区担当チームを区民に紹介する地域情報紙を発行

**ウ 地区担当チーム向け地域支援研修（4回）**

- ・転入者向け基礎研修（4月9日、4月10日）
- ・地域力アップ研修（9月19日、9月20日）

**エ 地域力支援システム運用事業（通年）**

地区担当チームの地域支援に活用する地域情報を収集、整理する地域力支援システム「神奈川区GIS」を運用

**㊦ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）**

自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や、区民の自主的な地域活動に対する経費補助などを行う「かながわ地域支援補助金」事業を実施しました。

また、区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施しました。

- ◆「かながわ地域支援補助金」事業
  - 地域スクラムコース、区民力発揮コース
- ◆「地域づくり大学校」事業（6講実施）

**(25) 区民活動・生涯学習支援事業 2,708,178円（予算額3,670,000円）**

**地域振興課**

地域の問題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供しました。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行いました。

**ア 生涯学級事業**

- ◆区民向け講座「生涯学級」の開催（3団体による連続講座3講座を開催）
- ◆運営委員対象のスキルアップ講座の開催（6月、12月、1月）  
※3月の交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

**イ 区民活動支援センター事業**

- ◆相談・支援等
  - ・ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク（人財バンク）を活用したコーディネート
- ◆担い手発掘・育成
  - ・区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（8月～2月・区内3施設）
  - ・助っ人バンクを活用した市民活動・地域活動体験講座として「助っ人バンク講座」を開催（1月20・24日）
  - ・登録団体や助っ人バンクの活動を紹介する「活動PR展」の開催（11月3日・かながわ湊フェスタと統合開催）
  - ・登録団体、助っ人バンク対象の交流会を開催（8月19日）
- ◆情報紙発行
  - ・情報紙「ぐるーばる・あい」の発行（年6回）
- ◆地域施設間連携
  - ・地域課題等の情報共有や地域支援力向上のための施設間連携会議を開催（12月2日）
  - ・地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行等

**ウ かながわ湊フェスタ開催事業**

- ◆かながわ湊フェスタ2019の開催（11月3日・神奈川公会堂）
  - ・神奈川区内で活動している市民公益活動・生涯学習団体の活動をPR
  - ・生涯学習・市民活動団体や活動者同士が交流することで活動を活性化
  - ・来場者が生涯学習・市民活動を始める手がかりとなることで、いきいきと活動する区民を増やし地域を活性化



(26) 地域福祉保健活動推進・支援事業 1,234,903 円（予算額 1,840,000 円）

福祉保健課

「誰もが住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らせるまちをつくろう」を基本理念として、平成 28 年度から 5 年間で計画期間とする「かながわ支え愛プラン（第 3 期神奈川区地域福祉保健計画）」を推進しました。あわせて、30 年度に実施した「区計画中間振り返り」も踏まえて第 4 期神奈川区地域福祉保健計画（計画期間：令和 3 年度～ 7 年度）の策定を進めました。

◆第 3 期計画の推進および第 4 期計画の策定準備

<策定・推進会議>

- ・区計画の推進・進捗確認および策定に向けた意見交換の場である「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（9 月、11 月）
- ・策定・推進会議委員へ区計画骨子内容の意見照会及び骨子の完成（3 月）
- ・21 地区でそれぞれの地区の目標や課題等について話し合う場である地区別計画推進会議の開催（各地区 2～3 回）



地区別計画推進会議の様子

<地域別グループへの活動支援>

- ・区職員、区社会福祉協議会、地域ケアプラザで構成する地域別グループによる各地区支援（通年）
- ・地域別グループの各機関の連携を深める場として、情報交換会の開催（6 月 24 日・26 日）

<報告会・広報>

- ・計画の取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2 月）
- ・広報紙「支え愛プラン通信」の発行（9 月）
- ・広報よこはま区版を活用した第 3 期計画に関する取組報告（8 月、10 月、1 月、4 月）

<各地区現状のデータ分析>

- ・地域支援の方向性を検討する前提資料として、各地区の現状を各種統計データなどから分析（通年）
- ・分析データを地域別グループと地区住民とが共有する情報交換会を開催（11 月 13 日）
- ・一連の取組について、第 54 回横浜市保健・医療・福祉研究発表会にて事例発表（12 月 26 日）

(27) ふれあい活動支援事業 1,741,348 円 (予算額 1,871,000 円)

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

◆ふれあい活動員全員を対象とする研修会 (10月16日、約300人参加)

地区の事例発表 (3地区) 及び「気づき 見守り つながり」をテーマとした聖徳大学教授 豊田宗裕氏による講演を実施

◆各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議 (8月1日)

◆ふれあい活動支援補助金の交付 (17団体)

◆神奈川区見守り活動啓発用パンフレットの作成・配布 (再掲)

36 ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業 (健康福祉局区配)

市が保有する75歳以上のひとり暮らし高齢者等の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげています。

令和元年度から、従来の75歳以上のひとり暮らし高齢者と併せて、75歳以上の高齢者のみで構成された世帯に属する高齢者にも対象者を拡大して実施しました。

《令和元年度対象者数》	新たに75歳になったひとり暮らし高齢者	1,369人
	75歳以上の高齢者のみ(2人以上)世帯	3,818世帯

(28) 民生委員・児童委員活動支援事業 836,047 円 (予算額 940,000 円)

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

◆訪問活動用物品の作成

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入  
(ソフトパッキティッシュ、9月配布)

◆広報用ちらしの作成【新規】

民生委員・児童委員の役割や活動内容等を紹介するちらしを作成し、自治会・町内会等を通して地域に配布 (6月)

◆新任民生委員・児童委員研修会

令和元年12月の一斉改選で新たに委嘱された方を対象に、民生委員・児童委員の心構えや関係機関の機能など必要な知識を学ぶ研修を実施 (12月、2月)



民生委員・児童委員活動PRチラシ

**(29) 区民協議会支援事業 338,025 円 (予算額 389,000 円)**

**区政推進課**

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動（運営委員会、各部会、区民のつどい、地域のつどいなどの会議・行事）に対して支援を行いました。

- ◆機関紙「こぶし」第 26 号発行（7,500 部）【5 月】
- ◆区民のつどい（第 20 期活動報告）の開催【6 月 30 日】
- ◆第 20 期部会活動
  - ・自治会町内会の後継者問題と地域活動の情報伝達
  - ・ポイ捨て問題等の生活環境
  - ・災害時対応
- ◆機関紙「こぶし」第 27 号発行（6,400 部）（9 月）
- ◆区長懇談会（11 月 5 日）
- ◆地域のつどい
  - ・神大寺地区（11 月 17 日）
  - ・新子安地区（12 月 7 日）
- ◆施設見学会（12 月 3 日）  
見学先：消防局鶴見水上消防出張所

**(30) 地域活動支援事業 2,682,731 円 (予算額 3,152,000 円)**

**地域振興課**

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行いました。

**ア 自治会町内会長感謝会（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止）**

- ◆区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年 1 回実施（3 月）
- ◆5 年以上の会長在職者について区長表彰を実施

	平成 30 年度	令和元年度
自治会町内会数	178	178
被表彰者数	25	26

※感謝会中止に伴い、感謝状及び記念品を郵送にて送付

**イ 自治会町内会配送業務**

- ◆各自治会町内会に月 1 回（12 月を除く）回覧・掲出依頼物を送付
- ◆配送業務に係る事前準備委託

**ウ 自治会町内会加入促進事業**

- ◆転入者セットへ同封する加入促進チラシなどを作成

**(31) 持続可能な団地再生検討事業 2,428,174 円 (予算額 3,000,000 円)**

区政推進課

住民の高齢化や建物の老朽化が進行する区内団地について、地域主体での持続可能なコミュニティの形成等を目指すための検討を行いました。

- ◆区内団地および団地を取り巻く周辺環境を分析するため、コーディネーター等による調査・課題の抽出を実施（通年）【新規】
  - ・コーディネーターへの委託による区内大規模4団地の基礎調査の実施及び基礎調査を踏まえたモデル1団地（西菅田団地）に対するヒアリング調査の実施（4～12月）
- ◆令和6年度以降に廃止されることが予定されている現菅田小学校跡地の活用について、地域関係団体が立ち上げた菅田小学校跡地利用検討委員会を事務局として支援
  - ・検討委員会開催 5回（7/26、9/2、10/30、1/29、3/9）
  - ・検討委員会ニュース発行 4回
  - ・地域住民向けワークショップの開催（12/14、30名参加）

**(32) 神奈川区民まつり事業 3,739,674 円 (予算額 4,000,000 円)**

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川区民まつりの実施に向けて、環境問題に配慮した取組（リユース食器の利用促進、カーボンオフセットの取組等）等についても支援しています。（※大型台風第19号が接近したため開催中止）

- ◆ 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- ◆ 会場等の利用支援

## **V 共感と信頼の区役所      8,651,965円（予算額10,782,000円）**

(33) チーム神奈川おもてなし向上事業

(34) かながわ情報発信・相談事業

### **自主企画事業費以外で実施する主な事業**

⑦ 社会保障・税番号制度対応事業（市民局事業）

**(33) チーム神奈川おもてなし向上事業      6,347,258円（予算額8,209,000円）**

**総務課**

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指しました。また、来庁者に利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めました。

#### **ア 人材育成等推進事業**

##### **◆神奈川区を知る研修**

- ・新採用・転入者研修（4月1日、12日、計79名）
- ・区内見学研修（5月29日、30日、31日、計46名）
- ・「チーム神奈川を学ぶ」研修（9月～11月、計79名、他課の業務を学ぶ）

##### **◆職員研修**

- ・CS向上研修（2月28日、3月3日、計32名）
- ・職員スキルアップ研修（2月12日、3月4日 アンガーマネジメント研修、計29名、3月4日、9日 事務処理ミス対策研修、計41名）
- ・行政対象暴力研修（2月20日、計16名）

#### **イ 人権啓発事業**

##### **◆区職員向け研修**

- ・責任職研修（全体研修6月11日、グループ研修7～3月各5回程度）
- ・職員対象研修（10月～1月、計8回）

##### **◆区民向け・関係団体向け講演会（12月5日、計182名）**

#### **エ 窓口等環境改善**

市民局が行う戸籍課マイナンバー窓口セキュリティ強化と合わせて別館1階を改善

#### **オ サイン再整備等**

サイン計画に基づく庁舎総合案内サイン再整備等を実施

⑦ 社会保障・税番号制度対応事業（市民局事業）

マイナンバーカードを取り扱う戸籍課窓口及び執務室のレイアウト・什器等の整備の実施を行いました。

(34) かながわ情報発信・相談事業

2,304,707円(予算額2,573,000千円)

区政推進課

区の情報を効果的に発信するため、ホームページ等の管理運営や区民生活マップの発行を行いました。

区の魅力を発信するツールとして、マスコットキャラクター「かめ太郎」や区の花チューリップを活用した各種事業を実施しました。

- ア 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供
- イ 区民生活マップの発行：日本語版 13,000部
- ウ 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用
- エ 区の花「チューリップ」を植栽し、写生画展の開催
  - ◆区内小学生を対象として写生画展を開催、  
受賞作品を神奈川図書館・区役所で展示  
神奈川図書館 6月5日～12日  
区役所1階区民ホール 6月21日～7月5日  
(参加作品数 4,353点)
  - ◆区内小学校に球根を配付(10月～11月)



「ツイッターを活用した情報発信」

令和2年 第3回

# 区づくり推進横浜市会議員会議

令和2年度 個性ある区づくり推進費

執行状況



令和2年9月4日

神 奈 川 区



# 目 次

	ページ
1 令和2年度神奈川区運営方針 . . . . .	1
2 令和2年度神奈川区編成予算総括 . . . . .	5
3 令和2年度神奈川区編成予算自主企画事業費 . . . . .	6

# 令和2年度 神奈川区 運営方針

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、大変厳しい状況下にあります。区民の皆様が安心して生活できるよう、迅速・正確な情報発信など、感染拡大防止を第一に考え、総力をあげて取り組んでいきます。

令和2年5月 神奈川区長 高田 靖

## I 基本目標

### 笑顔でつながる「神奈川区」

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～



## II 目標達成に向けた施策

### 1 安全・安心なまちづくり

大地震や風水害時の迅速な避難行動や被害軽減につなげられるよう、自助の行動を促す取組を強化します。

あわせて、町の防災組織の取組支援に加え、地域防災拠点の運営支援や環境整備等の共助の取組を推進します。

また、災害対策本部機能を充実させ、区役所の災害対応力の強化を図ります。

さらに、地域や関係機関と連携を強化して防犯・特殊詐欺対策・交通安全の取組を進めます。

### 3 魅力にあふれ愛着が

#### もてるまちづくり

区の魅力を更に発信し、「かながわ愛」・「地域愛」を深めることで、幅広い世代の区民同士のつながりを育み、次世代につながるよう取組を進めます。

また、区民や事業者の皆様とともに温暖化対策やまちの美化・3Rの推進に取り組めます。

### 2 誰もがいきいきと暮らし

#### 続けられるまちづくり

自分の健康に関心を持ち、主体的に健康行動がとれるよう、幅広い世代を対象とした健康づくりを推進します。

また、地域で安心して子育てできるよう、親子のたまり場づくりや外遊び支援の充実等に取り組めます。

あわせて、介護予防を推進し、認知症高齢者、障害児・者への取組を進めます。

### 4 地域のかやつながりを

#### はぐくむまちづくり

地域の身近な課題の解決や、地域活動を支える担い手の育成を地域とともに取り組み、地域主体の持続可能なコミュニティの発展を目指します。

「かながわ支え愛プラン」(神奈川区地域福祉保健計画)は、第4期計画の策定を地域とともに進めます。

## III 目標達成に向けた組織運営 ～共感と信頼の区役所～

### おもてなしの区民サービス

区民の皆様にもっと身近な行政機関として、基礎的な行政サービスを正確・迅速に提供し、親切・丁寧に対応します。

### 現場主義の実践

職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚し、区民の皆様の声に耳を傾け、現場主義を実践するとともに、協働による地域づくりを進めます。

### チーム神奈川の推進

課題解決に向けて各課の連携を強化し、「チーム神奈川」で共に考え協力して取り組みます。

また、組織力を向上させるために、ワークスタイル改革に取り組み、職員がやりがいをもって、自らの能力を発揮できる職場環境づくりを進めます。



神奈川区マスコットキャラクター  
かめ太郎

# 施策1 安全・安心なまちづくり

## 防災・減災

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進します。また、防災への関心を高めるため、次世代・多世代に対する啓発を進めます。

- ◆ 大地震、風水害時の窓ガラス飛散防止普及啓発
- ◆ 乳幼児子育て世代向け家具転倒防止の普及啓発
- ◆ 建築士のアドバイザーを自宅に派遣し、防災・減災の取組を支援
- ◆ 地域防災拠点の機能強化
  - ・ 運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂支援
  - ・ 地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）



窓ガラス飛散防止フィルムの効果  
(左：フィルムなし 右：フィルムあり)

## 防犯

警察や地域と連携して啓発を行い、特殊詐欺被害防止等に取り組み、防犯意識向上を図ります。

- ◆ 防犯キャンペーンやパトロールなどの機会を活用した啓発
- ◆ 詐欺被害防止のための機器普及に向けた取組
  - ・ 高齢者世帯を対象にした自動通話録音装置の無償貸出
  - ・ 高齢者世帯を対象にした迷惑電話防止機能付き電話機・機器の購入設置に対する補助



特殊詐欺被害防止のぼり



特殊詐欺被害防止ポスター

自動通話録音装置※を実際に利用した方へのアンケート結果  
※着信音が鳴る前に自動で警告メッセージを流す装置

問	機器を設置した「後」の不審な電話や迷惑な電話について	
・ ほとんどかかってこなくなった	76.5%	(91件)
・ ときどきかかってくるが前よりも減った	17.6%	(21件)
・ 変わらない	5.9%	(7件)
・ 増えた	0%	(0件)



# 施策3 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり

## 魅力発信

神奈川区資産「わが町かながわとっておき」を活用し、区制100周年を見据え、区民の皆様、特に次世代を担う小中学生の地域への関心や愛着を深められるよう、まちの魅力アップに取り組みます。

- ◆ 「わが町かながわとっておき」を活用したイベントの開催
  - ・ 新聞コンテスト、写真コンテストなど
- ◆ 商店街スタンプラリーの開催
- ◆ 区内歴史資産を活用した魅力発信
- ◆ 小学生向けのエコ活啓発出前教室の開催
- ◆ 地域美化活動「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施



「わが町かながわとっておき」写真コンテスト  
令和元年度 最優秀作品



## 施策2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

### 健康づくり

区民の皆様が生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体と協力し、健康づくりの取組を進めます。

- ◆ 健康チェック・情報コーナーを活用した健康相談の実施
- ◆ 保健活動推進員等と協働したウォーキングイベントの実施
- ◆ 歯周病予防やオーラルフレイル予防などをテーマにした  
歯科出前講座の開催
- ◆ 3歳児健康診査での食育ミニ講座



さあ！歩こう健康ウォーキング

### 子育て支援

児童の健やかな成長を見守る地域づくりを進め、育児力の向上を支援し、児童虐待を防止するための取組を進めます。  
また、区内の保育・教育施設による防災対策の取組を支援します。

- ◆ 子育ての不安や悩みを持つ保護者に向けた子育て支援  
・親支援プログラム、子育て講演会、子育て支援教室
- ◆ 「すくすくかめっ子」20周年記念フォーラムの開催、活動PR動画作成
- ◆ 保育・教育施設が、地域と連携して防災に取り組むための支援  
・有識者による連続講座、伴走支援、DVDを活用した普及啓発



保育・教育施設での防災の取組

### 高齢者・障害者支援

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、在宅医療に関する普及啓発や身近な場所での介護予防、認知症支援事業を地域と一体になって取り組みます。  
また、障害者一人ひとりがその人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援します。

- ◆ 医療・介護に関する区民向け講習会の開催
- ◆ 介護予防出張講座「体力測定de健康アップ講座」の実施
- ◆ 「認知症高齢者みまもり協力店」登録店の活動支援  
・認知症サポータースキルアップ講座、オレンジ連絡会などの開催
- ◆ 製品の展示・販売などによる、障害者地域作業所等の活動支援



みまもり協力店シール

## 施策4 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

### 地域づくり

自治会町内会や地域で活動する団体と区役所が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めます。

- ◆ 地域人材マッチング事業  
・過去の取組をもとにした実施マニュアルを作成し、マッチング事業の仕組みを地域の実情に応じて活用できるよう展開
- ◆ 地域活動の情報発信のためのSNS活用促進に向けた講座の開催
- ◆ 地域活動を支える人材育成のための神奈川区地域づくり大学の実施
- ◆ 「かながわ支え愛プラン」第3期計画の推進と第4期計画の策定



地域づくり大学校

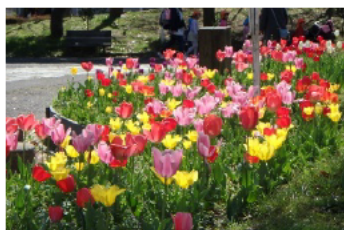
# 参加できる！神奈川区の身近な取組を紹介します

## 花いっぱい神奈川区に 土木事務所の花いっぱい事業

公園愛護会等の各ボランティア団体と協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。皆様に植えていただく色とりどりのお花が、公園をさらに身近な憩いの空間に変えています。



配布した花苗をボランティアの皆様が公園の花壇に植えている様子



区民の皆様と植えたチューリップ



公園愛護会の皆様による花苗の育成の様子

公園愛護会の活動に興味がある方は、神奈川区土木事務所下水道・公園係公園愛護会コーディネーターまでお問い合わせください。

電話：491-3363

## 子育てしやすい環境整備のために

### 保育所の地域連携

#### 食育推進

園児の保護者を対象にした給食試食や、地域の親子を対象にしたランチ交流を通して、食に関する育児相談を実施し、食育推進を図っています。



園庭開放の様子

#### 地域交流

市立保育所の園庭や施設を地域の子育て家庭に開放するほか、誕生日会なども実施して、保育所と地域の交流を図っています。

園庭開放は保育園に通っていないお子さんも参加できます。興味がある方はこども家庭支援課までお問い合わせください。

電話：411-7148

#### 連携強化

民間の保育所と合同で園長会や研修を実施し、連携を強化するとともに、保育の質の向上を図っています。

## 「もったいない」を「ありがとう」へ

### 市内初！区役所や地区センターなどでフードドライブの取組を実施

フードドライブとは、各家庭で食べきれない未開封食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設へ寄付する活動です。

神奈川区では、元年度に他区に先駆けて区役所や地区センターなどで常設のフードドライブ受付場所を設置しました。

これまでに600kgを超える食品を寄付いただき、子ども食堂やひとり親家庭への食品の提供、高齢者の食事会などで活用されています。



寄付された食品の例

ご自宅に寄付いただける食品がございましたら、地域振興課までお問い合わせください。お近くの受付場所をご案内します。

電話：411-7091

# 令和2年度 神奈川区編成予算総括

## 1 区分別総括表

(単位：千円)

	2年度予算額	元年度予算額	差 引
(1) 自主企画事業費	106,137	106,014	123
(2) 統合事務事業費	48,560	48,465	95
統合事務費 ※1	28,072	28,518	△ 446
統合事業費 ※2	20,488	19,947	541
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	585,672	577,348	8,324
合 計	740,369	731,827	8,542

※1…局事業に係る事務費 ※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

## 2 内 訳

(1) 自主企画事業費 106,137千円 (元年度 106,014千円) 差引 123千円

(単位：千円)

区 分	2年度予算額	元年度予算額	差 引	増減理由
4つの施策				
I 安全・安心なまちづくり	36,063	35,942	121	振り込み詐欺等撲滅対策事業(迷惑電話防止機能付電話等の購入補助制度新設)の増
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	18,638	22,278	△ 3,640	かながわ健康応援事業(健康チェックコーナー整備完了)の減等
III 魅力にあふれ愛着が持てるまちづくり	9,806	9,796	10	かながわエコスクラム事業(区内産野菜等の出張販売の実施)の増等
IV 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり	27,282	24,600	2,682	地域福祉保健活動推進・支援事業(かながわ支え愛プラン(第4期)策定)の増等
V 共感と信頼の区役所	14,348	13,398	950	チーム神奈川おもてなし向上事業(窓口混雑状況公開ホームページ運用)の増
合 計	106,137	106,014	123	(33事業)

(2) 統合事務事業費 48,560千円 (元年度 48,465千円) 差引 95千円

(単位：千円)

区 分	2年度予算額	元年度予算額	差 引
統合事務費	28,072	28,518	△ 446
統合事業費(8事業)	20,488	19,947	541
合 計	48,560	48,465	95

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 585,672千円 (元年度 577,348千円) 差引 8,324千円

(単位：千円)

区 分	2年度予算額	元年度予算額	差 引
1 区庁舎等	81,031	79,531	1,500
2 土木事務所	8,376	8,155	221
3 公会堂	35,499	35,123	376
4 地区センター等	196,800	194,727	2,073
5 ログハウス	8,201	8,126	75
6 区民文化センター	115,371	114,097	1,274
7 老人福祉センター	25,682	25,449	233
8 コミュニティハウス	54,252	52,462	1,790
9 スポーツセンター	51,580	50,798	782
10 広場・遊び場	1,380	1,380	0
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	7,500	0
合 計	585,672	577,348	8,324



## ～令和2年度神奈川区編成予算自主企画事業費～

### I 安全・安心なまちづくり 36,063千円(元年度35,942千円)

- (1) 地域防災力向上事業 重点
- (2) 振り込め詐欺等撲滅対策事業 重点
- (3) 神奈川区防犯対策事業
- (4) 交通安全対策事業

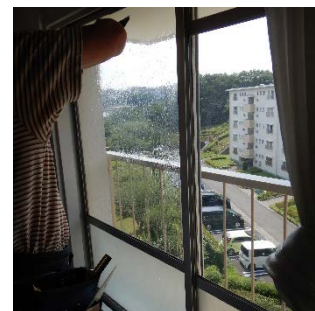
#### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 神奈川東部方面線整備事業(都市整備局事業)
- ② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業(都市整備局事業)
- ③ 東高島駅北地区開発事業(都市整備局事業)
- ④ まちの不燃化推進事業(都市整備局事業)
- ⑤ 総合的な空き家等対策の推進(建築局事業)
- ⑥ 公園再整備・施設改良事業(環境創造局区配)
- ⑦ 下水道管きよ耐震化事業/下水道再整備事業(環境創造局事業)
- ⑧ 道路維持修繕事業(道路局区配)
- ⑨ 道路改良事業(道路局区配)
- ⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業(道路局区配)
- ⑪ 都市計画道路大田神奈川線(馬場地区)街路整備事業(道路局事業)

(1) 地域防災力向上事業 26,357千円(元年度26,757千円) ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進するとともに、防災への関心を高めるため、次世代・多世代に対する啓発を進めます。また、地域、医療機関等と連携して地域防災力の向上を図ります。



窓ガラス飛散防止フィルム  
設置作業

ア 地域防災力の強化

◆自助の推進

- ・窓ガラス飛散防止普及啓発事業【新規】(申請：14件)  
→窓ガラス飛散防止対策の重要性を啓発するチラシを作成し、  
地域へ周知
- ・乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業【新規】(通年)  
→出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう、家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布(耐震ジェルマット1500個作成、9月から事業開始予定)
- ・防災アドバイザー派遣事業(申請：5件)
- ・感震ブレーカーの設置支援(申請：4件)
- ・家具転倒防止対策器具設置補助(申請：3件)
- ・不燃化推進地域等における感震ブレーカー設置促進事業(申請50個)
- ・「自分でつくるmy防災マップ」作成支援(通年)  
→8/23 イオンスタイル東神奈川

◆共助の推進

- ・地域防災拠点の機能強化【新規】(通年)  
→運営委員向け研修  
基礎編…7/23(37人)、7/27(18人)  
応用編…8/6(16人)、8/8(10人)  
→運営マニュアルの改訂支援(9月～5拠点実施)  
→地域防災拠点の環境整備(実績：2件)
- ・共助推進事業(申請：9件)



運営委員向け研修(応用編)  
(新型コロナウイルスに対応した  
受付シミュレーション)

◆次世代への防災教育

- ・中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援(通年)  
→出前講座等 8/17(500人)、8/31(450人)

◆多世代の防災意識向上

- ・子育て世代向け防災ガイドを活用した防災意識向上の取組などを実施(通年)

◆神奈川区内鉄道事業者等による災害対策検討会議(7月【中止】)

◆新子安・子安通1丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会(10月)

イ 区役所災害対応力の強化

災害時に職員が迅速かつ的確に行動できるよう、新たに通信環境を整備するとともに、訓練や研修を実施し、災害対応力の強化を図ります。

◆地域 BWA※を活用した通信環境の整備【新規】（通年）

- ・大地震、風水害時に迅速に対応するための通信機器やアプリを整備し、区災害対策本部内と地域防災拠点の情報手段を強化

→地域防災拠点運営委員向け研修応用編で説明会及び操作訓練を実施

※地域 BWA…災害発生時に行政が優先して利用できる無線システム

◆職員向け訓練・研修

- ・転入職員向け研修、即応班研修（4月・書面研修）
- ・風水害対策避難場所運営訓練（7月10日、29日、30日）  
（8月4日、6日、7日）
- ・地域防災拠点参与等研修（7月6日、7日）
- ・地域防災拠点動員者向け研修（8月24日、25日）
- ・庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月）
- ・区本部各班訓練（通年）（8月18日）



避難場所運営訓練

◆区本部運営に必要な物資の整備（通年）

→避難場所運営セットの購入、感染症対策物品の購入

## ウ 医療初動体制の整備

◆災害医療に係る機関や団体との連携

- ・神奈川区災害医療連絡会議（9月【中止】、12月【中止】）

◆災害医療の訓練や区民啓発

- ・区災害医療訓練（区役所内の連携を中心に実施）（11月27日）
- ・医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（年3回）
- ・地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施（随時）
- ・災害医療のぼり旗掲出訓練の実施（9月【中止】）
- ・他区との通信訓練（鶴見区と合同開催）（1月）
- ・広報掲載 災害医療やのぼり旗について周知（8月号）
- ・Yナース募集広報区版（2月）

## エ 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への先進地区の取組事例紹介等を行い、新規協定締結の促進を図ります。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援します。

◆新規協定締結の促進<令和2年8月末現在 名簿提供団体：106団体>

- ・新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）
- ・先進的に取り組んでいる地区の方による事例の紹介（5団体予定）や取組が必要と考えられる地域へのアプローチ（随時）
- ・災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報保護と活用に関する研修会（8月 計5回）

◆災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

## オ 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）について、引き続き福祉避難所の役割や機能を区民へ周知していきます。

また、要援護者自身の自助力を高めることの重要性について啓発していきます。

加えて、福祉避難所運営体制の整備を図ります。

### ◆福祉避難所の役割や機能の周知及び要援護者自身の自助力を高める方策の実施

- ・要援護者自身の日頃の備えなど自助力向上の啓発内容を盛り込んだ周知チラシの作成、区内公共施設にてチラシを配架、周知（11月～）
- ・介護事業者等の協力を仰ぎながら、要援護者の自助力向上の必要性を啓発（【実施未定】）

### ◆福祉避難所運営体制の整備 <<令和2年8月末現在 福祉避難所協定締結数：20施設>>

- ・福祉避難所協定締結施設との連絡会を開催（第1回：7月29日開催。第2回は令和3年2月にweb会議システムを用いて開催予定）
- ・福祉避難所協定締結施設を対象に研修会を開催（年1回【実施未定】）
- ・要援護者の福祉避難所への受入れ人数の精査（5月実施。新型コロナウイルス感染症対策状況を踏まえた受入れ人数の調査を再度実施予定）
- ・「福祉避難所情報共有システム」を用いた福祉避難所開設情報受伝達訓練を年3回実施（1回目：8月26日、2回目：11月、3回目：令和3年1月実施予定）

## カ 災害時のペット対策

### ◆地域防災拠点における災害時のペット対策支援（通年）

- ・地域防災拠点運営委員会総会（5月29日書面開催）等にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- ・「ペットの一時飼育場所設置事例集」「ペットの一時飼育場所開設運営マニュアル」等について地域防災拠点参与等研修（7月6、7日）等で周知
- ・「神奈川区地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン（令和元年9月改訂）」に従い、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策を支援
- ・防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施
- ・専門家等による講演会の実施

### ◆飼い主への災害時ペット対策の啓発（通年）

- ・広報よこはま区版での啓発（9月号）
- ・区民ホール（6月1～5日）や地域防災拠点等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施
- ・「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を動物病院等で配布



地域防災拠点でのペット同行避難訓練

## (2) 振り込め詐欺等撲滅対策事業 2,506 千円 (元年度 2,000 千円)

☆重点事業

地域振興課

地域で実施する防犯キャンペーンやパトロール、防犯講話等の機会を捉え、啓発物品や広報物の配布などを通じて特殊詐欺（振り込め詐欺等）に遭わないための啓発を行い、区民の防犯意識向上を図り、被害者の減少を目指します。

特に、特殊詐欺の犯人は電話の声を録音されることを嫌うため、警察等関係機関と連携し、留守番電話設定の奨励や、迷惑電話防止機能付き電話機・機器の普及に向けた対策を継続して進めます。

### ア 詐欺被害防止のための機器普及に向けた取組

#### ◆自動通話録音装置の貸出

- ・高齢世帯を対象に無償で貸出（予定数 156 台）

#### ◆迷惑電話防止機能付き電話機・機器の購入設置に対する補助

- ・高齢世帯を対象に、費用の一部を補助（予定数 100 台）



自動通話録音装置の一例

### イ 警察や地域と連携した詐欺被害防止対策

#### ◆「留守番電話の設定」「迷惑電話防止機能付き電話機・機器の設置」に向けた周知・啓発

- ・自治会町内会にのぼり旗等の物品を配布
- ・防犯キャンペーンや防犯講話において、参加者へ啓発物品を配布

## (3) 神奈川区防犯対策事業 2,920 千円 (元年度 2,905 千円)

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察署や防犯協会と連携を図りながら、情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進します。

### ア 住みよいまちづくり活動（21 地区連合町内会の防犯活動支援）

- ◆助成金交付、防犯啓発物品の配布・貸与

### イ 防犯活動啓発事業

- ◆防犯情報メールの配信、区ツイッターへの掲載
- ◆地域への防犯グッズ（帽子・ベスト・防犯棒等）の配布
- ◆地域・事業者等の車両による青色回転灯パトロールの実施支援
- ◆その他区内の各地区の犯罪発生状況に応じた啓発



#### (4) 交通安全対策事業 4,280千円(元年度4,280千円)

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図ります。

また、路側帯のカラー化など用地取得を伴わない安全対策を行い、歩行者環境の改善を図ります。

##### ア 交通安全啓発事業

- ◆交通安全教室の開催 対象：小・中学生、高齢者
- ◆交通安全チラシおよび啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用

##### イ 神奈川区交通安全対策協議会事業

- ◆神奈川区交通安全対策協議会の開催、交通安全功労者表彰の実施等

##### ウ 児童通学路整備事業

- ◆スクールゾーン対策協議会活動の支援
- ◆通学路内の路面標示の補修

##### エ 交通安全対策工事

- ◆路面標示・標識の設置、補修等



中学校で実施した交通安全教室



警察と連携した交通安全啓発活動



## 神奈川区内まちづくり関連予算

### ① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

相鉄・JR直通線（西谷～羽沢横浜国大）は、令和元年11月30日に開業しました。引き続き、横浜羽沢貨物駅構内の復旧工事等を進めます。

相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大～日吉）では、4年度下期の開業に向けて、全区間で土木工事等を進めます。

### ② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和元年度は、建築工事に着手しました。令和2年度は、引き続き建築工事を進めます。

### ③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和元年度は、移転補償を進めるとともに、**迂回路用仮橋の設置工事を実施しました。**

令和2年度については、工所用仮橋の設置、基盤整備、埋立等を実施します。

### ④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

### ⑤ **総合的な空家等対策の推進**（建築局事業）

平成31年2月に「**第2期横浜市空家等対策計画**」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和元年度は、空家化の予防、流通活用の促進を目的とした相談体制の強化や空家所有者に対する活用補助のモデル実施とともに、特定空家等の認定推進、現地調査や所有者調査の委託化等、管理不全な空家への指導強化に向けた対策を実施しました。

令和2年度は、これらの取組を継続しつつ、空家の所有者へのアドバイスを行う専門家の派遣をモデル実施し、自主改善を促すとともに、空家の情報を一元管理するシステムの整備により、関係区局が連携して的確な指導を実施します。



横浜駅きた西口鶴屋地区（イメージ）

**⑥ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）**

開園又は再整備後概ね 30 年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施します。令和 2 年度は松見町三丁目公園、新子安二丁目公園で実施します。

また、老朽化した遊具等施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心性の向上を図ります。令和 2 年度は打越公園などで実施します。

**⑦ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）**

応急復旧活動拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めます。令和 2 年度は羽沢小学校や大口東病院などの下水道管きょ耐震化を実施します。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和 45 年に布設した下水道管（本管及び取付管）の再整備を行います。令和 2 年度は入江、東神奈川などで工事を実施します。

**⑧ 道路維持修繕事業（道路局区配）**

三枚町（環状 2 号線）や入江 2 丁目などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図ります。

**⑨ 道路改良事業（道路局区配）**

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、用地交渉を進め、早期取得を目指します。また、竣工箇所 of 道路台帳の整備を行います。

**⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）**

道路特定事業計画に基づき整備を進めており、引き続き損傷した誘導ブロックの補修工事を行うとともに、大口駅東側の整備を行います。

**⑪ 都市計画道路大田神奈川線（馬場地区）街路整備事業（道路局事業）**

横浜北線の馬場出入口は、2 月 27 日に 2 か所の出口及び法隆寺交差点側の入口が開通しました。引き続き行われる内路交差点側の入口の整備にあわせて、交差点北側及び南側の街路築造工事を行います。

## Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 18,638 千円

(元年度 22,278 千円)

(5) かながわ健康づくり応援事業 重点

(6) かながわ安心子育て支援事業

(7) かながわ子育てかめっ子支援事業

(8) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業

(9) 市立保育所地域交流事業

かながわ子育て応援事業 重点

(10) 放課後児童健全育成連携強化事業

(11) 介護予防・高齢者支援事業

(12) 障害者支援事業

(13) 青少年育成費

(14) スポーツ振興事業費

### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

⑫ 370 万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

⑬ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

⑭ DV対策事業（こども青少年局区配）

⑮ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

⑯ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

⑰ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

⑱ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）

⑲ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

⑳ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

㉑ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局）

㉒ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）

㉓ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

㉔ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）

㉕ 自殺対策事業（健康福祉局区配事業）

(5) かながわ健康づくり応援事業 3,765千円(元年度6,134千円) ☆重点事業

福祉保健課

区民の皆様が生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体等と協力し、健康づくり取組を進めます。※今後の感染症発生動向により、大幅に予定を変更する可能性があります。

ア さあ！歩こう健康ウォーキング事業(保健活動推進員等と協働)

◆ウォーキングイベント

- ・保健活動推進員等と協働したウォーキングイベントの実施(10月29日【中止】、3月4日)
- ・保健活動推進員等が主催する地区におけるウォーキング開催支援(随時)



【さあ！歩こう健康ウォーキング】(平沼記念体育館)

イ 健康づくり推進事業

◆区庁舎内常設健康チェック・情報コーナー

- ・コーナーを活用した健康相談の実施【新規】(10回 ※5、6月分は【中止】7月から規模を縮小し月1回開催)
- ・関係機関・団体等の健康づくり活動情報の充実



【健康チェック・情報コーナー】

◆健康かながわ応援月間(10~11月)

- ・区役所各課に加え、関係機関・団体、事業所、地域に呼びかけ、賛同した健康関連事業を一体的にPR。
- ・講演会実施 年1回【中止】
- ・区民まつり 健康ワクワク広場(1回)【中止】

◆地域における健康づくり活動の支援

- ・歯周病予防・オーラルフレイル※予防をテーマとした歯科出前講座の開催(7回)
- ・健康チェック機器を充実させ、地域関係団体の活動を支援(随時)
- ※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態。



【健康かながわ応援月間ロゴマーク】

◆働き・子育て世代の健康づくり

- ・両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施(12コース)
- ※4、5月分は【中止】

ウ 食育普及事業

◆保育園・小中学校等との連携による食育推進

- 栄養士・養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会(年間2回)及び食育展(6月8日~19日【まで】)、研修会開催【中止】



【食育展】(区庁舎1階ホール)

◆食育関連講座

- ・3歳児健診での食育ミニ講座(年24回・4、5、6月分は【中止】)
- ・学校等との協働により出前食育講座を実施(2回)

横浜市中期4か年計画(2018~2021)

政策15「健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保」(健康福祉局区配)

- ・健康寿命の延伸に向け、若い世代からの生活習慣の改善やがんの早期発見等、生活習慣病の重症化予防・介護予防を進め、市民一人ひとりの健康づくりを推進します。
- ・日常生活の中で屋楽しみながら、継続的に取り組める健康づくりのムーブメントを広げ、健康ライフスタイルの浸透を図ります。

**(6) かながわ安心子育て支援事業 1,508 千円 (元年度 2,072 千円) ☆重点事業**

**こども家庭支援課**

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みます。また、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援します。

**ア 児童虐待防止対策事業**

◆子育て講演会 (年2回 ※日程については調整中)

2歳児の保護者向けの子育ての具体的な方法についての講演会を実施

◆児童虐待・DV防止連絡会 (年2回)

(6月4日【中止】、令和3年1月28日)

◆養育支援連携会議

(5地区実施予定。取り組みの少ない地区に働きかけを行う。

7月時点で2地区より開催希望あり)

◆虐待リスクのある対象者への支援【新規】

- ・第1子を対象とした新生児訪問を拡充し、不安の強い第2子以降への家庭訪問等を実施
- ・乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を丁寧に行い支援につなぐ

**イ 親支援プログラム**

◆0歳児向け (6月の全4回【中止】 令和3年1月25日、2月1日、8日、15日)

子育ての不安や悩みを持つ保護者に対し、子育てのノウハウを具体的に学べる講座を実施

**ウ 子育て支援教室**

障害児を持つ保護者同士の交流会を実施 (6月26日、10月9日、令和3年2月12日)

**エ 虐待対応に関わる専門職の対応力強化【新規】**

複雑で重篤な児童虐待事例の増加に対応するため、関係者のスキルアップや精神的な負担を軽減するための取組を実施 (スーパーバイザーによる事例検討等、令和3年2月開催に向けて調整中。)

**オ ひとり親家庭相談支援事業**

児童扶養手当の現況届時などに相談員を配置

**カ DV・虐待心理相談事業**

カウンセリングを実施 (年6回)

**キ 児童扶養手当現況面接一時託児事業**

児童扶養手当現況届集中面接期間に一時託児を実施



子育て講演会

**⑬ 児童虐待防止啓発地域連携事業 (こども青少年局事業)**

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

**⑭ DV対策事業 (こども青少年局区配)**

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。



(7) かながわ子育てかめっ子支援事業 5,486 千円 (元年度 5,190 千円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場づくり「すくすくかめっ子」20周年記念フォーラムを開催し活動の意義や今後の在り方を改めて考えます。

ア 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催(年12回)

4月【中止】5月【中止】6月【中止】7月～【再開】

イ 赤ちゃんふれあい学級【中止】

区内小学校で0歳児の母子の協力を得て、児童が乳児と接する機会づくりを実施(4校)

ウ 養育ネットワーク事業

0歳児の育児教室を実施(区内16か所 月1回程度)

4月【中止】5月【中止】7月～【12会場再開】

エ 外遊び活動支援事業

◆外遊び体験イベント(3回/コース・年2回)

5月8日【中止】5月18日【中止】5月26日【中止】

◆外遊びネットワーク交流会(年2回)

◆外遊びリーフレットの印刷(12,000部)

オ すくすくかめっ子事業

◆地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流を実施

(令和2年9月時点 46会場)

◆すくすくかめっ子20周年事業(活動PR動画の作成等)の実施【新規】

12月7日 すくすくかめっ子20周年記念フォーラム【中止】

カ 子育て情報提供事業

子育て応援マップ(13,000部)、子ども・家庭支援相談案内(6,000部)

キ 子育てアンケート事業

令和元年度に実施した調査結果のリーフレットを作成し、子育て関係者に広く周知



外遊び体験イベント(反町公園)

⑮ こんにちは赤ちゃん訪問事業(こども青少年局区配)

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。

参考:令和元年4月～令和2年3月の実績 訪問員59名、訪問件数 1,595件

⑯ 地域子育て支援拠点事業(こども青少年局区配)

未就学児とその保護者、および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。

神奈川区には「かなーちえ」(NPO法人 親がめが運営)があります。

参考:令和元年4月～令和2年3月の実績 28,085名



**(8) 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業 1,000 千円 (元年度 805 千円)**

**☆重点事業**

**こども家庭支援課**

大規模災害などに備えて、令和元年度の取組を一步進め、より多くの保育・教育施設が「自助」「共助」の観点で防災対策に取り組むことができるよう、横浜市立大学と協定を結び、講座やワークショップ、伴走支援等を行います。

**ア 連続講座**

保育・教育施設における地域連携の在り方を考える講座やワークショップを開催 **(2回)**



連続講座

**イ 伴走支援【拡充】**

施設と地域の連携モデル策定に向けた伴走支援を、新たに小規模保育施設を含む地域防災拠点などのエリア単位で実施 (2園+1エリア)



伴走支援

**ウ DVDを活用した普及啓発【新規】**

令和元年度の取組をまとめたDVDを活用し、地域連携の取組や手法をより多くの施設に普及啓発 **(9月)**

**(9) 市立保育所地域交流事業 1,851 千円 (元年度 1,835 千円)**

**☆重点事業**

**こども家庭支援課**

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

**ア 食育推進事業**

入所児童の保護者を対象に給食試食、地域の親子を対象にランチ交流を実施

**イ 地域交流事業**

園庭や施設を地域に開放し交流を実施

**ウ 保育施設等情報パンフレット作成**

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成

**エ 保育園連携強化事業**

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会（年6回程度開催予定）や研修会を行い、保育の質の向上を図ります。



園庭開放

**⑰ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）**

全市共通事業（育児相談、育児講座、平日の園庭開放等）に加え、土曜日の園庭開放を実施し、父親の育児参加等を支援します。

**⑱ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築事業（こども青少年局区配）**

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

※5月～7月研修中止 8月下旬より開始予定

**⑲ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）**

待機児童解消のため、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュが中心となって、電話や面談等により保護者へ寄り添った、きめ細やかな相談、支援を行います。

**【令和3年4月開所（予定）】**

〈新設・認可保育所〉

- ・ウィズブック保育園青木町（仮称）（青木町） 定員 60 人
- ・こころキッズ（仮称）（片倉五丁目） 定員 46 人
- ・ポピンズナーサリースクール片倉町Ⅱ（仮称）（片倉五丁目） 定員 50 人
- ・マフィス白楽ナーサリー（仮称）（六角橋一丁目） 定員 54 人

**(10) 放課後児童健全育成連携強化事業 300 千円（元年度 300 千円）****こども家庭支援課**

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の質の向上と安定運営を図るため、放課後事業に従事する職員や、現場を支える運営者を対象に研修を実施します。

※今後の感染症発生動向により、大幅に予定を変更する可能性があります。

**ア 区役所内研修**

研修名	対象者	内容	実施時期
クレーム対応	職員 運営主体	保護者等への対応や、クレーム時の対応	11 月
感染症対応	職員等	感染性胃腸炎等が発生した場合の対応	11 月
危機管理	職員 運営主体	事故を防止する取組や事故発生時の対応	2 月
養育支援	職員等	児童虐待等への対応	【実施未定】

**イ クラブ出前研修（2クラブ程度）**

講座名	対象者	内容	実施時期
労務・経理 安全対策 等	職員 運営主体	労務管理や運営費の経理処理、施設の安全管理や災害時の対策等について	7 月 ～12 月

【対象】 放課後児童健全育成事業クラブ数（令和2年4月1日現在）

放課後キッズクラブ 19 か所、放課後児童クラブ 17 か所



研修の様子

**⑳ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）**

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を委託して実施します。

## (11) 介護予防・高齢者支援事業

2,044 千円（元年度 1,590 千円）

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らし続けられるよう、局配付事業と一体的に取り組みます。在宅医療に関する区民への普及啓発や身近な場所での介護予防、認知症支援事業を地域と一体となって取り組み、「地域包括ケアシステム」の基盤づくりを推進していきます。

※ イベントや講演会・会議の開催等については、新型コロナウイルス感染症への対応として開催の可否や手法の転換を検討中です。

### ア 地域包括ケア推進事業

#### ◆医療・介護に関する普及啓発

- ・地域ケアプラザ等地域の身近な場所で実施する医療・介護に関する区民向け講習会の開催【実施未定】
- ・広く区民を対象に医療の普及啓発を目的とした医療講演会の開催【実施未定】

#### ◆地域ケア会議の実施

- ・高齢者個人に対する支援の充実、それを支える社会基盤の整備（地域づくり）等を目的に、地域ケアプラザ等が実施する地域ケア会議の効果的な実施に向けた支援の実施（2回（個別1回、包括1回 7月末時点））



令和元年度 神奈川区医療講演会

### イ 介護予防普及啓発事業

#### ◆介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」の開催

- ・地域の身近な場所である町内会館等において、健康の客観的指標である「体力測定」を取り入れた介護予防講座を、地域ケアプラザ等と連携して開催【中止】

#### ◆介護予防普及啓発物品の作成

- ・介護予防のポイントについて、日常生活の中でも意識して行動できるよう、啓発物品を作成・配布

### ウ 認知症高齢者支援事業

認知症高齢者を支援する各種取組を推進します。

#### ◆「認知症高齢者みまもり協力店」の登録店数拡大への取組【拡充】

- ・認知症高齢者を温かく見守る「みまもり協力店」については、「オレンジ連絡会」などで連携を進めているが、協力店の認知度を高め店舗数をさらに広げていくために、登録店舗に配布するシールのリニューアルを実施

（サイズの拡大、粘着面を絵柄側に加工）

#### ◆高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配付

- ・平成30年度に作成した「みまもりキーホルダー」を、緊急時の身元確認ツールとして区内の地域ケアプラザ等で引き続き配付



みまもり協力店シール



### ⑳ 地域包括ケアシステム推進関連事業（医療局・健康福祉局事業）

- ・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）

横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。
- ・在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修（医療局区配）
- ・介護予防・日常生活支援総合事業（健康福祉局事業）

介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。
- ・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）

主に生活支援・介護予防に重点的に取り組む事業として、生活支援コーディネーター等が地域住民など多様な主体と連携しながら、日常的家事の支援、交流・居場所づくり、見守り活動などの立ち上げや運営の支援に取り組んでいます。
- ・各区地域包括ケア行動指針推進費（健康福祉局区配）

### ㉑ 介護予防普及啓発関連事業（健康福祉局区配）

- ・元気づくりステーション事業  
介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をします。
  - \*活動状況： 地域包括支援センター単位で1～5か所にて実施
  - \*内 容： 体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など
- ・地域介護予防活動支援事業  
地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指します。

### ㉒ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

- ・神奈川区徘徊高齢者 SOS ネットワーク  
認知症により徘徊の可能性のある方を事前登録することで、徘徊して行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。
- ・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）

徘徊によって行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。  
(平成30年12月より事業開始)
- ・認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）

医療や介護サービス等につながない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行います。

### ㉓ 特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化（健康福祉局事業）

現在の地域ケアプラザの整備計画終了後の方針検討に合わせて、特別養護老人ホーム併設地域包括支援センターの機能強化の検討を行います。

(12) 障害者支援事業 1,062 千円 (元年度 1,589 千円)

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりがその人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援します

ア 障害者地域作業所等の活動支援

◆花のデリバリー

- ・フラワーアレンジメントの配達を委託 (通年・8月再開)

◆障害者地域作業所等の活動支援

- ・反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援 (通年)
- ・区役所販売支援 (通年・週1回程度)、障害者週間 (12月) 等での啓発【実施未定】



障害者週間自主製品販売

イ 障害児者の健康づくり講習会

◆健康づくりのための研修の開催

- ・障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケア技術の向上のための訪問指導 (3回/年【実施未定】)

オンライン講習会検討中



【健康づくり講習会】(区内作業所)

ウ 精神障害者の退院促進や在宅生活継続に向けた支援

◆精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- ・生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催 (随時)
- ・精神保健福祉関係機関との連絡調整会議 (2回/年・10月以降開催)

エ 関係機関との連携・支援

◆障害者支援を行う関係機関等のスキルアップ・ネットワーク構築支援

- ・関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催 (1回/年・書面開催など検討中)
- ・神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催 (地域自立支援協議会 地域づくり会議2回/年・書面開催含む)

オ ひきこもり状態にある人への支援【新規】

- ◆ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催 (10/8 実施予定)

㊥ 自殺対策事業 (健康福祉局区配事業)

自殺対策強化月間 (9月) として、広域的な自殺対策に取り組んでいる。

ポスター掲示や相談窓口を掲載したティッシュを配布。講演会を開催。【中止】

広報よこはま区版トピックス掲載 (9・3月号)

相談窓口を掲載したリーフレット作成 (9月)



**(13) 青少年育成費 542 千円 (元年度 542 千円)**

**地域振興課**

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年が生き生きと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して、関係団体の活動を支援するとともに、各団体間の連携を図ります。

**ア 青少年活動推進事業**

- ◆子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業に対する支援

**イ 青少年パワー発揮事業**

- ◆B-SKY FES 2020  
青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント実施（9月【中止】）

**(14) スポーツ振興事業 1,080 千円 (元年度 2,221 千円)**

**地域振興課**

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援します。

**区民大会等各種事業補助**

- ◆各種スポーツ大会、講習会の支援
  - ・野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き

### Ⅲ 魅力にあふれ愛着が持てるまちづくり 9,806 千円

(元年度 9,796 千円)

- (15) 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- (16) わが町かながわ商店街魅力発信事業
- (17) 文化活動支援事業
- (18) 花いっぱい事業
- (19) かながわエコスクラム事業
- (20) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- (21) 放置自転車等対策事業
- (22) 動物適正飼育推進事業

#### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ②⑥ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ②⑦ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ②⑧ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ②⑨ 身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ③⑩ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ③⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

## (15) 神奈川区資産「わが町かながわとっておき」活用事業

2,333 千円（元年度 2,333 千円）

☆重点事業

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町かながわとっておき」を活用し、まちの魅力アップに取り組むことで、区制 100 周年を見据え、区民、特に次世代を担う小中学生の地域への関心や愛着を深めます。

### ア 神奈川区資産の活用

#### ◆「わが町かながわとっておき」を活用したイベントの開催等

若いうちから「かながわ愛」・「地域愛」をはぐくみ、将来にわたって神奈川区への定住を促進するため、次世代を担う区内小中学生をターゲットとしたイベントを実施

< 具体的事業 >

#### ① かめ太郎 まち自慢新聞コンテスト

(令和 2 年 6 月～受付中)

#### ② とっておきを巡るバスツアー

新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、事業内容・手法等を検討します。

※地域団体で組織する「わが町かながわとっておき実行委員会」が主催

#### ◆第 12 回「わが町かながわとっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

令和 2 年 8 月～作品募集

#### ◆「わが町かながわとっておき」散歩ガイドの配布と活用

### イ 看板の維持管理

#### ◆「わが町かながわ 50 選」案内看板の維持管理

現況確認を行い必要に応じて補修します。



「わが町かながわ 50 選」  
案内看板の一例



第 11 回 写真コンテスト  
最優秀作品（一般部門）

**(16) わが町かながわ商店街魅力発信事業 2,076千円(元年度2,121千円)** 地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、商店街を含めたコミュニティの活性化を図ります。

**ア 商店街ラリー事業**

神奈川区の商店街を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作り、商店街の魅力を発信します。

**②⑥ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）**

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

**②⑦ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）**

商店街が防犯パトロール活動を実施している場合、商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成する事により、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及策及び都市美化を図ります。

**(17) 文化活動支援事業 1,000千円(元年度1,000千円)** 地域振興課

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援するとともに、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実します。

**ア 文化協会補助金**

- ◆区伝統芸能祭（民謡民舞のつどい【中止】、邦楽のつどい【中止】、舞踊のつどい【中止】）
- ◆区民音楽祭（コーラス交歓会【中止】、アンサンブルコンサート、  
中学校生徒音楽会（協会共催））
- ◆区文化展（洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の展示会）
- ◆コンサート in 公会堂【中止】
- ◆ちいさな美術館

**イ 読書活動推進事業**

- ◆読書活動推進講演会
- ◆読書活動推進に向けた広報
- ◆読書活動関係機関連絡会（2回）

**(18) 花いっぱい事業 1,550 千円 (元年度 1,550 千円)**

**土木事務所**

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。

**ア 球根・花苗の配布、花壇の設置**

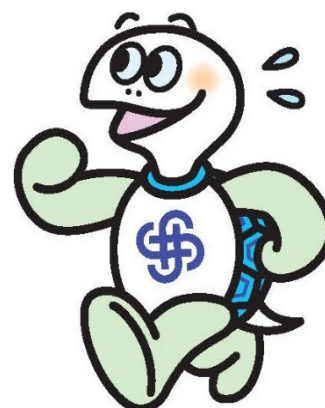
- ◆区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布し植栽を実施します。
- ◆公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置します。

**イ 花苗の育成**

- ◆公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行います。

**ウ ボランティア団体の交流の促進**

- ◆土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流を促進します。



(19) かながわエコスクラム事業 783 千円 (元年度 580 千円)

区政推進課

区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、温暖化対策を推進します。

エコ講座や緑のカーテンの普及啓発、地産地消推進等の取組を進めます。

ア エコ活啓発事業

- ◆小学生向け出前教室の開催 (2回)
- ◆カーボンオフセットへの取組の支援・PR
- ◆エコパートナー協定に基づいた横浜FC協働事業 (エコパートナーDAY出展)

イ 緑化推進事業

- ◆区内公共施設での緑のカーテンの普及啓発 (15施設【中止】)
- ◆区役所での緑のカーテン設置 (5月～10月)



緑のカーテンの育成 (神橋小学校)

ウ 地産地消推進事業

- ◆区役所での区内産野菜等の出張販売の実施 (11月)【新規】
- ◆野菜の他、花きなど区内産農産物のPR
- ◆直売所マップ集やレシピ集などを活用した地産地消の魅力発信 (通年)
- ◆食育講座等での地産地消に対する啓発活動

㊸ 緑化推進事業 (環境創造局区配)

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みます。

- ◆小学校・保育所に緑のカーテンを設置 (20施設)

㊹ 身近に感じる地産地消の推進事業 (環境創造局区配)

身近に感じる地産地消を推進するため、区民と協働して作成した直売所マップを増刷します。



(20) チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 1,110 千円 (元年度 1,000 千円)

地域振興課

「ヨコハマ3R夢プラン」、特に3Rのリデュースを推進するため、食品ロスの削減、生ごみの水切り、土壌混合法等の普及・啓発を実施します。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指します。

ア 地域美化活動支援事業

- ◆地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- ◆「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）  
（9月末予定【中止】）

イ 不法投棄防止対策事業

- ◆不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- ◆地域と連携した不法投棄への対応

ウ ヨコハマ3R夢啓発事業

- ◆地域まつり等での啓発
- ◆子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ◆保育園や小学校等での出前授業
- ◆広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- ◆資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・



地域清掃

不適正排出事業者の調査・指導・啓発

- ◆ヨコハマ3R夢推進功労者の表彰【中止】
- ◆喫煙禁止地区における地域と連携した啓発【全6回中3回中止】
- ◆喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
- ◆リユース食器利用促進に向けた費用補助

(21) 放置自転車等対策事業 700 千円 (元年度 650 千円)

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図ります。

ア 自転車マナーアップ事業

- ◆広報での駐輪場の利用促進
- ◆自転車利用のマナーアップ啓発

イ 自転車等放置防止推進協議会への助成

- ◆10地区の協議会に対し活動費を助成

動物の適正飼育について普及啓発及び地域猫活動の支援を行います。

### ア 犬の適正飼育啓発事業

- ◆犬の適正飼育方法の啓発チラシやトイレパックを窓口、町内会（2地域）等で配布  
啓発用トイレパック 1,200 パック  
啓発チラシ 2,000 枚
- ※ 狂犬病予防注射出張会場は新型コロナウイルス感染症の影響により【中止】。
- ◆犬のしつけ方で困っている飼い主へマナー教室の開催
- ◆広報よこはま区版での啓発（令和3年3月号掲載予定）

### イ 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ◆飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等にチラシの配布（7地域）やセミナー（2地域）等の実施、ふんトラブルの解決方法を啓発するため猫用トイレの配布（1地域）、神奈川区猫ボランティアの派遣（7地域）などの支援
- ◆飼育管理が不適切な飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育者に対して不妊去勢手術の指導
- ◆広報よこはま区版での啓発（6月号）

### ウ ペットの預け先啓発事業

- ◆飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレット配布等により啓発



かかりつけ動物病院啓発リーフレット

### ⑩ 地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。  
支援対象組織には、登録された飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をします。

### ⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成します。

## IV 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり 27,282 千円

(元年度 24,600 千円)

- (23) 地域力アップ推進事業 重点
- (24) 区民活動・生涯学習支援事業
- (25) 地域福祉保健活動推進・支援事業
- (26) ふれあい活動支援事業
- (27) 区民協議会支援事業
- (28) 民生委員・児童委員活動支援事業
- (29) 神奈川区民まつり事業
- (30) まちの魅力向上事業
- (31) 地域活動支援事業

### 自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑳元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ㉑ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業（健康福祉局区配）

(23) 地域力アップ推進事業 3,400千円(元年度 3,378千円) ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため「地域力アップ推進事業」を実施します。

ア 地域人材マッチング事業(通年)

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援します。

◆自治会町内会が取り組む担い手の掘り起こしを目的としたアンケートの実施にあたり、地域ニーズに応じた内容となるよう、検討・作成支援

◆自治会町内会が地域の実情に応じて、主体的かつ効果的に事業を実施できるよう、これまでに本事業に取り組んだ自治会町内会での成功事例やアンケート作成のノウハウをもとに、マニュアルを作成【新規】



「ご近所通信」の発行

イ 地域情報の発信(通年)

◆地域活動の情報発信のためのSNS活用促進に向けた講座の開催【新規】

◆区内の地域活動の事例を区民に紹介する地域情報紙「ご近所通信」(2回: 11月、3月発行予定)や「地域のわ通信」(通年)の発行

ウ 地区担当チーム向け地域支援研修(未定)

エ 地域力支援システム運用事業(通年)

地区担当チームの地域支援に活用する地域情報を収集、整理する地域力支援システム「神奈川区GIS」を運用します。

⑳ 元気な地域づくり推進事業(市民局区配)

自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や、区民の自主的な地域活動に対する経費補助などを行う「かながわ地域支援補助金」事業を実施します。

また、区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施します。

◆「かながわ地域支援補助金」事業

スタートアップコース、自治会町内会スクラムコース、地域人材マッチングコース

◆「地域づくり大学校」事業(5講程度実施予定)

(24) 区民活動・生涯学習支援事業 3,196千円(元年度3,670千円)

地域振興課

地域の問題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供します。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行います。

ア 生涯学級事業

- ◆区民向け講座「生涯学級」【中止】
- ◆運営委員対象のスキルアップ講座・交流会

イ 区民活動支援センター事業

- ◆相談・支援等
  - ・ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク(人財バンク)を活用したコーディネート
- ◆担い手発掘・育成
  - ・区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催【3講座開催予定のところ、2講座中止】
  - ・助っ人バンク活用の市民活動・地域活動体験講座として「助っ人バンク講座」を開催
  - ・登録団体、助っ人バンク登録者対象のスキルアップ講座・交流会(9月・3月)
  - ・登録団体、助っ人バンク登録者の活動を地域へPRする場としての「区民活動支援センター活動PR展」をかながわ湊フェスタと統合開催(11月)【中止】
- ◆情報紙発行
  - ・情報紙「ぐろーばる・あい」の発行(年6回)
- ◆地域施設間連携
  - ・地域課題や情報共有などを行うため施設間連携会議の開催(7月【中止】・12月)
  - ・地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

ウ かながわ湊フェスタ開催事業

- ◆かながわ湊フェスタ2020の開催(11月)【中止】
  - ・区内で活躍する市民活動団体等が一堂に会し、区民に対して活動PRを実施
  - ・市民活動団体同士の連携による新たな活動のきっかけづくり
  - ・「区民活動支援センター活動PR展」と統合開催することにより、地域とのマッチングを促進し地域人材を発掘、育成支援
  - ・神奈川区の人やまち、環境など多面的な魅力を発信し、神奈川区への愛着感を醸成



かながわ湊フェスタ 2019の様子



**(25) 地域福祉保健活動推進・支援事業 3,667千円（元年度1,840千円）** 福祉保健課

「誰もが住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らせるまちをつくろう」を基本理念とし、5か年計画の最終年度となる「かながわ支え愛プラン（第3期神奈川区地域福祉保健計画）」を区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協働して推進します。あわせて、平成30年度から進めてきた準備を踏まえ、第4期神奈川区地域福祉保健計画（計画期間：令和3年度～7年度）を策定します。

◆第3期計画の推進および第4期計画の策定

- ・区計画の推進・進捗確認および策定に向けた意見交換の場である「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（9月、11月、3月）

- ・計画策定アドバイザーを活用した、区計画の策定（通年）
- ・地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による21地区支援及び、それぞれの地区の目標や課題等について話し合う地区別計画策定推進会議の開催

（各地区2～3回）

- ・地区別計画情報交換会の開催（上半期【中止】）
- ・計画の取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月【中止】）

- ・広報紙「支え愛プラン通信（第7号）」のホームページ掲載（5月）

- ・広報よこはま区版を活用した、地域ケアプラザによる地区支援の取組紹介（3か月に一度）

- ・地域支援の方向性を検討する前提資料として、各地区の現状を各種統計データや各課の実施調査などから分析（通年）



地区別計画策定推進会議の様子

**(26) ふれあい活動支援事業 1,939 千円 (元年度 1,871 千円)**

**福祉保健課**

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

- ◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行っている研修会、全体会議の中止
- ◆ふれあい活動支援補助金の交付（4～5月）

**③②ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）**

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげます。

令和元年度からは、従来の75歳以上のひとり暮らし高齢者と併せて、75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者にも対象者を拡大しています。

《令和元年度実績》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,369人

75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 7,638人（3,818世帯）

**(27) 区民協議会支援事業 566 千円 (元年度 389 千円)**

**区政推進課**

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動（運営委員会、各部会、区民のつどい、地域のつどいなどの会議・行事）に対して支援を行います。

- ◆機関紙「こぶし」発行（年2回）
- ◆第20期「活動の成果」発行【延期：来年度実施】
- ◆区民のつどい（第20期最終報告）の開催【6月28日(日)】【延期：来年度実施】

(28) 民生委員・児童委員活動支援事業 2,867 千円 (元年度 940 千円)

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

◆訪問活動用物品の購入

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入

また、民生委員が安心して訪問活動を行えるよう訪問の際に使用するマスクを購入。

《令和元年度実績》 ソフトパックティッシュ 約 8,000 個

◆民生委員担当区域地図の作成【新規】

訪問先等を容易に確認できるようにするため、住宅地図に民生委員の担当区域を表示した地図を作成

◆新任委員研修

一斉改選後 1 年目の新任委員を対象に、必要な知識の習得やスキル向上のための研修を実施 (1 回)

(29) 神奈川区民まつり事業 4,000 千円 (元年度 4,000 千円)

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川区民まつりを支援するとともに、環境問題に配慮した取組 (ごみの分別徹底やリユース食器の利用促進・回収率向上、カーボンオフセットの取組等) について支援します。

◆ 実行委員会や各運営部会との連絡調整

◆ 会場等の利用支援

◆ 区民まつりの実施 : 10 月 11 日 (日) 【中止】



**(30) まちの魅力向上事業** 4,182千円(元年度 5,360千円) ☆新規事業 区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指すため、各地域の特性や課題を把握し、魅力あるまちづくりを進めます。

**ア 持続可能な団地再生検討事業**

区内大規模団地4団地のうち、人口減少・高齢化等が最も大きい西菅田団地をモデルとして、地域主体の勉強会等を行い、団地再生に向けた検討体制づくりを支援します。

- ◆まちづくりの専門家派遣による地域主体の勉強会等の実施(通年) 【実施未定】

**イ 小学校跡地利用検討事業**

前年度に立ち上がった菅田小学校跡地利用検討委員会からの提案を参考として、地域課題の解決につながる後利用となるよう検討を進めます。

- ◆地域の意見や提案等を参考に、関係局との情報共有を図りながら小学校跡地活用を検討
- ◆小学校跡地活用に向けた市の検討状況に関する地域への説明や周知



菅田小学校跡地利用検討委員会の様子

**ウ 歩行者ネットワーク強化事業**

- ◆利便性や防災性、回遊性向上を図る歩行者空間の維持に伴う国有地及び市場用地の土地使用料等(通年)

**(31) 地域活動支援事業** 3,465千円(元年度 3,152千円) 地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

**ア 自治会町内会長感謝会**

- ◆区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施(3月)
- ◆5年以上の会長在職者について区長表彰を実施

**イ 自治会町内会配送業務**

- ◆各自治会町内会に月1回(8月・12月を除く)資料等を送付
- ◆配送業務に係る事前準備委託

**ウ 自治会町内会加入促進事業**

- ◆転入者セットへ同封する加入促進チラシなどを作成

**V 共感と信頼の区役所 14,348 千円 (元年度 13,398 千円)**

- (32) チーム神奈川おもてなし向上事業
- (33) かながわ魅力発信事業



(32) チーム神奈川おもてなし向上事業 9,646千円(元年度8,209千円)

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指します。また、来庁者に利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めます。

ア 人材育成等推進事業

◆神奈川区を知る研修

- ・新採用・転入者研修(4月1日開催、4月13日【中止】)
- ・区内見学研修(4・5月【中止】)
- ・「チーム神奈川を学ぶ」研修(他課の業務を学ぶ)【中止】

◆職員研修

- ・CS向上研修【実施未定】
- ・職員スキルアップ研修【実施未定】
- ・自動車・自転車安全運転研修【7月17日(同日2回実施)、計24名】
- ・行政対象暴力研修【8月25日(同日2回実施)、計25名】

イ 人権啓発事業

◆区職員向け研修

- ・責任職研修(最低2つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴)
- ・職員対象研修(最低1つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴)

◆区民向け・関係団体向け講演会(1回)【実施未定】

ウ 区民顕彰事業

スポーツ、芸術、文化等の分野において、特に顕著な功績があった方へ栄誉賞を贈ります。

エ サイン整備等

区役所を訪れた方がスムーズに来庁目的を果たせるよう、わかりやすい誘導サイン等の改善を行います。

オ 窓口等環境改善

区役所窓口を気持ちよく利用していただけるよう、窓口周辺や待合室等の環境改善を行います。

(33) かながわ魅力発信事業 4,702 千円 (元年度 5,189 千円)

区政推進課

区民ニーズをとらえ、区の情報を効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信します。

ア 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供

イ 区民生活マップの発行：日本語版 13,000 部

ウ 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用

- ◆区民等へイラスト（素材）の提供（着ぐるみの外部貸出は当面の間は中止）

エ 区の花「チューリップ」の植栽、写生画展の開催

- ◆区内小学生を対象として写生画展を開催、受賞作品を神奈川図書館等で展示

(11月～12月予定)

- ◆区内小学校に球根を配付（10月～11月）

オ 横浜市中央卸売市場と連携した市場の魅力発信

カ 歴史活用事業

- ◆旧東海道歴史史跡等を活用したイベントの実施

【実施未定】

- ◆歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ

歴史亀さんぼ」を活用した広報（通年）

- ◆歴史の道ガイドパネル等の更新（5か所）



羽沢横浜国大駅開業イベントへの出演

## 令和3年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方

### 1 基本目標

「笑顔でつながる『神奈川区』」

～地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます～

### 2 令和3年度予算編成にあたっての留意点

- ・ 社会経済情勢を踏まえた上で、事業の効果や効率性を客観的なデータに基づき見極め、真に必要な取組を実施します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、計上する事業については「新しい生活様式」を取り入れ、感染予防に十分留意します。
- ・ 生産年齢人口の減少や超高齢社会の進展に起因した将来の地域社会の変化を見据え、持続可能な区政運営を目指した取組を進めます。

### 3 目標達成に向けた取組

地域の身近な課題にきめ細かく対応するため、これまでの取組の成果を踏まえ、次の4つのテーマに沿って着実に取り組んでいきます。

#### (1) 安全・安心なまちづくり

「防災」「防犯」「交通安全対策」等

#### (2) 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

「健康づくり」「子育て」「高齢者支援」「障害児・者支援」等

#### (3) 魅力にあふれ愛着が持てるまちづくり

「まちの魅力発信」「地球温暖化対策」「まちの美化・3R」等

#### (4) 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり

「地域協働」「持続可能なコミュニティの形成の支援」等

令和2年9月4日  
神奈川区市議員会議資料

## 神奈川区の新型コロナウイルス感染症への対応等

### 1 神奈川区の患者発生状況（横浜市ホームページより）

区名	鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子
数	187	108	50	140	110	132	87	124	71

区名	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷
数	94	174	74	190	71	90	32	52	75

ほか市外 106 人 8月28日時点 市合計 1,967 人

### 2 神奈川区福祉保健センターへの電話相談件数（福祉保健課）

累計 約 1,074 件（令和2年1月27日から8月28日まで）

○主な相談内容

- ・有症状者からの健康相談
- ・企業、施設等からの予防的相談（患者発生に備えた準備等）
- ・検査に関する相談

### 3 区役所等の業務への影響

#### ① 区役所（生活支援課）

生活保護相談や生活困窮相談の急増

#### ② 区民利用施設、福祉施設（地域振興課、福祉保健課）

6/1以降順次再開（部分開館及び利用制限あり）

#### ③ 保育園等（こども家庭支援課）

6月末で登園自粛要請期間が終了し、7月より通常開園。地域子育て支援も健康チェックを行いながら開始。

#### ④ 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等（こども家庭支援課）

7/1 小学校・中学校とも通常通りの授業の開始

8/3～8/16 夏季休業

#### ⑤ 放課後キッズクラブ・特別支援学校はまっ子ふれあいスクール・放課後児童クラブ（こども家庭支援課）

通常通りの開所（ただし放課後キッズクラブ区分1については限定受入れ）

#### 4 区役所に来庁しなくてもすすめられる手続き等

- ① 引越し（転出届）や証明書取得等の手続き（戸籍課）
  - ・郵送による転出届出（横浜市外への引越し）
  - ・郵送による住民票の写し等の取得
  - ・コンビニエンスストアでの住民票の写し等の取得
- ② 税証明の発行、申告書の提出（税務課）
- ③ 土曜日両親教室で配布している資料をホームページに掲載（こども家庭支援課）  
「赤ちゃんが来た！パパとママの誕生」の掲載
- ④ 両親教室（電話予約）（こども家庭支援課）
- ⑤ 子育て支援者会場の利用登録（電子申請）（こども家庭支援課）
- ⑥ 赤ちゃん教室（電話予約）（こども家庭支援課）
- ⑦ ひとり親世帯等への臨時特別給付金（こども家庭支援課）
  - ・市内在住で令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けている者は申請不要
  - ・その他の対象者は郵送やダウンロードにより入手した申請書類を郵送で提出
- ⑧ 生活にお困りの方のご相談窓口（電話で対応）（生活支援課）

#### 5 区役所で実施している支援策

※件数後ろの（）内の数字は、前回ご報告時の数字です。

##### （1）個人向け支援策

- ①国民健康保険の傷病手当金（保険年金課）【給付】  
新型コロナウイルスに感染、又は、感染が疑われることにより、会社等を休み、事業主から十分な給与等を受けられない場合に支給  
（問合わせ）4件（2）、（申請）1件（1）（8/28現在）〔令和2年4月～〕
- ②国民年金保険料の免除・納付猶予・学生納付特例（臨時特例措置）  
収入等が減少し、保険料の納付が困難な方が対象（保険年金課）  
（受付件数）免除・納付猶予135件（22）、学生納付特例1件（8/28現在）  
〔令和2年5月～〕
- ③国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免・徴収猶予  
収入が減少し、納付ができないと認められる方が対象（保険年金課）  
（前回報告時 相談件数 159件）  
〔国保：新型コロナウイルス感染症による収入減少等減免：令和2年6月～〕  
（受付件数）543件（8/28現在）  
〔介護：新型コロナウイルス感染症による収入減少等減免：令和2年6月～〕  
（受付件数）109件（8/28現在）  
〔後期：新型コロナウイルス感染症による収入減少等減免：令和2年7月～〕  
（受付件数）11件（8/28現在）



④住居確保給付金（生活支援課）【給付】

離職や廃業、収入減少等により居を失った、または、失うおそれの方に対し、家賃相当額（上限あり）を支給

4月中に年齢制限の撤廃、支給対象者の拡大、求職要件の緩和が行われました。

	相談件数		申請件数	
	R1	R2	R1	R2
4月	13	232	4	53
5月	3	521	3	112
6月	6	296	0	85
7月	9	171	0	35
累計	31	1220	7	285

⑤生活困窮者自立支援制度・生活保護制度（生活支援課）【援助】

生活にお困りの方に対し、個別の状況に応じ支援

（生活相談件数）4月 419件【220件】 5月 458件【184件】

6月 356件【225件】 7月 425件※【229件】

【】内前年同時期 ※集計中

⑥生活福祉資金〔緊急小口資金〕（区社協）【貸付】（3/25～現在）

新型コロナウイルス感染症の影響による休業等により収入が減少し、緊急かつ一時的に生計を維持することが困難となった世帯が対象

（受付件数）⑥+⑦ 809件（809）

【前年度、一般生活福祉資金全体で31件】

⑦生活福祉資金〔総合支援資金〕（区社協）【貸付】（3/25～現在）

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった世帯が対象

（受付件数）上記のとおり

⑧個人市民税・県民税の申告期限の延長（税務課）【期限延長】

申告期限（令和2年3月16日）を令和2年4月16日まで延長

（4月17日以降も申告を受付）【参考】（受付件数）7,467件（6,757）

⑨納税の猶予（税務課）【猶予】

市税の納税が困難な場合、徴収の猶予が受けられる場合あり

（受付件数）225件（32）【コロナ対策以外：前年2件】

⑩融資制度等に必要な証明書の交付（発行）手数料の減免（戸籍課・税務課）【融資手続】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う融資や貸付、各種支援制度等の手続きに必要な証明書（住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、税証明書）の交付（発行）手数料については無料

（交付件数）住民票・印鑑証明関係 1,437件（517） 税関係 641件（217）

⑪転入・転居・世帯変更等の届出期間の延長（戸籍課）【期間延長】

転入・転居・世帯変更等の住民票の異動に関する手続きは、法令により、届出の事由が生じた日（引っ越し等の日）から14日以内の手続きを要するが、感染拡大を防止のため外出を控えている場合等は14日を過ぎても手続き可

【届出期間の延長を行っている手続き】

※転入の届出：市外・市内の他区・国外からの引越しによる住民票の手続き

※転居の届出：市内の同一区内での引越しによる住民票の手続き

※世帯変更の届出：世帯主の変更、世帯の分離・合併等の手続き

※外国人の住居地届出の手続き

⑫マイナンバーカードの受取【常時】

交付通知書の受取期限を過ぎても、一定期間は交付可

⑬マイナンバーカードの電子証明書有効期限の更新手続き【常時】

有効期限を過ぎると、コンビニ交付やe-Tax等が利用不可となるが、有効期限後であっても、電子証明書を再登録する手続きは可能

⑭高齢者、障害者サービスに係る有効期間の延長等（高齢・障害支援課）

【期間延長】

指定難病医療受給者証、自立支援医療（精神通院医療、更生医療）、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、日常生活用具、要介護認定の更新申請等

## （2）事業者向け支援策

① 税証明発行手数料の減免（税務課）【融資手続】

新型コロナウイルス感染症にかかる融資や貸付、各種支援制度等の手続きに使用する目的で申請された税証明の発行手数料が無料

② 納税の猶予（税務課）

## （3）各種相談

① こころの健康に関する相談窓口（高齢・障害支援課）

② 依存症の個別相談（高齢・障害支援課）

③ 施設の消毒方法に関する相談（生活衛生課）

## 6 その他の対応

### （1）自治会・町内会（地域活動）（地域振興課）

1 会合、研修、行事等について感染防止策を依頼（夏祭り等は中止検討を依頼）

2 補助金申請期間の延長（延長後の期限：8/31）

① 町の防災組織活動費補助金

② 地域活動推進費補助金

③ 地域防犯灯維持管理費補助金

(2) 寄附受納の受入れ

1 区役所あて

区民、企業等からのマスク等の寄附受納 (13 件) (11)

《主な寄附者》

株式会社 fourlist、株式会社たしろ薬品、  
横浜神奈川東ライオンズクラブ、  
横浜ダイヤビルマネジメント株式会社

《主な活用先等》

区内の学童保育所、放課後キッズクラブ、  
障害者地域作業所等に配布

2 区社会福祉協議会あて (善意銀行扱い)

区民・団体等からのマスク、金銭等の寄付受納 (物品 5 件、金銭 2 件)

《主な寄附者》

神奈川大学  
神奈川ロータリークラブ

《主な活用先等》

区内高齢・障害施設に周知、希望のあった施設

3 地域ケアプラザあて

地域住民、企業、民生委員等からのマスク (16 件、1,868 枚)

《主な寄附者》

地元企業 [(株)デスポ、(一財)初代タイガーマスク基金、(株)ケアリッツ、  
神奈川サービス連絡協議会、他 2 計 1,520 枚]

地域住民 (7 人、312 枚)

民生委員 (2 人、36 枚)

《主な活用先等》

デイサービス利用者、近隣住民、近隣児童、近隣デイ事業所、職員